

平成26年度 事務事業点検シート

事務事業名	一般管理事務事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0165001000 - 001		
		分割/統合					
関連予算科目	会計	下水道事業	事業の分割/統合の内容				
	款	下水道事業費	事業所管課	下水道部下水道総務課			
	項	下水道事業費	連絡先	(078)918-5048			
	目	下水道総務費	自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 44 年度	
	事業	一般管理事務事業	根拠法令・要綱等	下水道法、明石市下水道条例、明石市公共下水道運営審議会規則			
施策分野	5 都市基盤整備分野 5-6 下水道の整備		実施方法	直営	○	補助・助成	その他
個別計画	下水道中期ビジョン『あかし下水道計画ガイド』			委託		指定管理	

事業の目的	対象（誰を・何を）	全市民
	意図（どういう状態にしたいのか）	下水道のしくみや必要性を理解し、下水道を正しく使用する。
事業内容	①市民生活に欠かすことのできない大きな役割を担っている「下水道」の課題や取り組みをPRするため、9月に下水道週間を設定し、集中的なPR活動を実施している。平成26年度については、小中学生による下水道作品展を開催する。 【下水道週間におけるPR活動の状況】 平成24年度：平成24年9月15日 下水道展開催 参加者 1,500人 平成25年度：平成25年9月14日 下水道展開催 参加者 1,500人 平成26年度：平成26年9月 下水道作品展開催予定	
	②学識経験者や市民の代表者等を交え、下水道の計画や下水道使用料の適正化について審議する「明石市公共下水道運営審議会」を開催すると共に、審議内容をホームページで公表することで、市民への周知を図る。 【審議会の開催状況】 平成24年度 2回 平成25年度 1回（これに加え、施設見学会を開催）平成26年度見込み 1回 ③下水道事業に携わる職員の資質向上を図るため、各種講習会、研修等へ下水道部職員を派遣する。 ④下水道事業の推進や下水道関係団体の活動の支援等を行っている、日本下水道事業団、日本下水道協会、下水道研究会議に加入し、総会や理事会、研修会等へ参加する。 ⑤下水道事業についての概要や、各種研修、講習会等で得た情報を、出前講座等を通じて市民に広くPRする。 ⑥平成28年度から下水道事業に対して地方公営企業法の財務規定を適用するために必要とされる移行事務を行う。 平成25、26年度 明石市下水道事業公営企業会計システム構築等業務委託 平成26、27年度 明石市下水道事業固定資産評価等移行支援業務委託	

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				26年度人員配置 (人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
24決算	137,114	40,580	177,694	0	0	159,096	18,598	正規	6.40	パート	0.00
25当初予算	202,962	42,840	245,802	0	0	180,015	65,787				
25決算	125,163	42,840	168,003	0	0	147,681	20,322	再任用	0.30	その他	0.00
26当初予算	207,558	56,100	263,658	0	0	163,542	100,116	任期付	1.00	合計	7.70

25年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	26年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	報酬	公共下水道運営審議会委員報酬	139		報酬	公共下水道運営審議会委員報酬	494
需用費	下水道週間PR用事務用品等	453	需用費	下水道週間PR用事務用品等	372		
委託料	明石市下水道事業公営企業会計システム構築等業務委託	6,045	委託料	明石市下水道事業固定資産評価等移行支援業務委託ほか	25,000		
負担金補助及び交付金	各種会費負担金	1,191	負担金補助及び交付金	各種会費負担金	1,202		
公課費	消費税	117,123	公課費	消費税	180,100		
その他		212	その他		390		
合計			125,163	合計			207,558

平成26年度 事務事業点検シート

整理番号	0165001000-001	事務事業名	一般管理事務事業
------	----------------	-------	----------

	指標名	考え方・定義・式	単位	24年度	25年度	26年度見込み
事業の成果	下水道作品展等への参加者数	下水道事業の必要性を市民へPRするためにおこなっている下水道作品展等への参加者数を成果指標とする。 (24年度、25年度は「下水道展」を開催)	人	1,500	1,500	600
	「明石市公共下水道運営審議会」の開催状況	公共下水道に関する重要事項を審議する「審議会」の開催状況について、効率的事業運営の成果指標とする。	回	2	1	1
指標で表せない成果						
<ul style="list-style-type: none"> ・日本下水道事業団、日本下水道協会、下水道研究会議等の研修会に参加することにより、最新の技術レベルを保つことができると同時に、効果的な情報収集ができています。 						

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
<ul style="list-style-type: none"> ・水循環における「下水道」の役割等への関心と理解を深めるため、引き続きPRを進めていきたい。 ・今後も最小の経費での運営を目指し、経費節減に努めていく。 ・引き続き、各種研修及び講習会等に参加することにより、技術の向上を図っていく。 ・下水道事業に対する地方公営企業法の財務規定適用のための移行事務を進める。 						

平成26年度 事務事業点検シート

事務事業名 下水道使用料徴収事務事業		新規/継続	継続事業	整理番号	0165001000 - 002										
		分割/統合													
関連予算科目	会計	下水道事業						事業の分割/統合の内容							
	款	下水道事業費													
	項	下水道事業費						事業所管課	下水道部下水道総務課						
	目	下水道総務費						連絡先	(078)918-5049						
	事業	下水道使用料徴収事務事業						自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 47 年度				
施策分野		5 都市基盤整備分野						根拠法令・要綱等 下水道法・明石市下水道条例							
		5-6 下水道の整備													
個別計画		下水道中期ビジョン『あかし下水道計画ガイド』						実施方法		直営		補助・助成		その他	
										委託	○	指定管理			
事業の目的	対象（誰を・何を）														
	明石市内の公共下水道を利用する者。														
事業の目的	意図（どういう状態にしたいのか）														
	下水道事業における財源を確保し健全な経営をめざす。														
事業内容	①公共下水道管に接続し、新たに下水道を利用する者に対して、下水道使用料を賦課する。 ②公共下水道を使用する者から下水道使用料を賦課・調定・収納する。 ③排除汚水（井戸水・工業用水等）の使用者調査及び排除汚水量の認定、収納を行う。 ④排除汚水認定企業を立ち入り検査し、配管設備・メータ確認を行い、申告書等について説明・指導を行う。 ⑤下水道使用料の重複支払等における過誤納金の還付、充当処理を行う。 ⑥下水道使用料の減免対象者（独居老人、災害等による被災者等）の調査・認定を行う。 ⑦下水道使用料の滞納者の徴収及び整理を行う。 ⑧財政計画の執行状況の調査・分析を行う。 ⑨水道部との協定書により業務委託（検針・収納・コンピュータシステム処理業務等）を実施。														

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				26年度人員配置（人）			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
24決算	144,862	19,170	164,032	0	0	168,087	-4,055				
25当初予算	143,784	19,280	163,064	0	0	66,048	97,016	正規	2.05	ｱﾊﾞｲﾄ	0.00
25決算	143,838	19,280	163,118	0	0	169,711	-6,593	再任用	0.20	その他	0.00
26当初予算	152,578	19,050	171,628	0	0	122,539	49,089	任期付	0.60	合計	2.85

25年度決算事業費明細	区分（節）	内容	金額	26年度当初予算事業費明細	区分（節）	内容	金額
	需用費	事務用品、各種帳票印刷等	38		需用費	事務用品、各種帳票印刷等	65
負担金補助及び交付金	水道部への使用料徴収負担金	141,650	負担金補助及び交付金	水道部への使用料徴収負担金	150,513		
償還金利子及び割引料	過年度過誤納還付金	2,150	償還金利子及び割引料	過年度過誤納還付金	2,000		
合計			143,838	合計			152,578

平成26年度 事務事業点検シート

整理番号	0165001000-002	事務事業名	下水道使用料徴収事務事業
------	----------------	-------	--------------

	指標名	考え方・定義・式	単位	24年度	25年度	26年度見込み
事業の成果	徴収実績	下水道使用料の徴収実績	千円	4,891,483	4,939,433	5,025,000
	指標で表せない成果					

	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する 必要性	有効性	金額の 妥当性	公平性	優先性・ 緊急性
事業の評価・今後の方向性	現状の課題・今後の事業展開方針等					
	<p>本事業は、下水道事業の根幹をなす収益事業である。</p> <p>使用料の徴収方法は水道料金との一括徴収であり、徴収業務については民間委託を行っているため、一層の効率化が図られている。</p> <p>本事業は、下水道事業を行う上で中心的な財源となっており、今後も健全な経営を持続するため、下水道料金の見直しについて検討し、また、滞納整理の強化に努める。</p>					

平成26年度 事務事業点検シート

事務事業名		受益者負担金賦課徴収事務事業		新規/継続	継続事業	整理番号	0165001000 - 003		
				分割/統合					
関連 予算 科目	会計	下水道事業		事業の分割/ 統合の内容					
	款	下水道事業費		事業所管課	下水道部下水道総務課				
	項	下水道事業費		連絡先	(078)918-5049				
	目	下水道総務費		自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 47 年度		
	事業	受益者負担金賦課徴収事務事業		根拠法令 ・要綱等	東播都市計画事業明石市下水道事業受益者負担に関する条例				
施策分野		5 都市基盤整備分野		実施方法	直営	○	補助・助成	その他	
		5-6 下水道の整備			委託		指定管理		
個別計画		下水道中期ビジョン『あかし下水道計画ガイド』							
事業 の 目的	対象（誰を・何を）								
	下水道を整備する区域内の土地所有者、または土地に対する権利者。								
意図（どういう状態にしたいのか）									
公共下水道の整備費用の一部を土地の面積に応じて負担していただき、整備の促進を図る。									
事業 内容	①新規下水道管布設工事計画について地元説明会を行い、受益者負担金を賦課・調定・収納事務を行う。 ②下水道管布設計画に伴い受益者及び受益地の認定。 ③賦課した受益者負担金の請求・督促・催告・収納事務を行う。 ④滞納者宅を訪問し、納付指導及び徴収業務を行う。 ⑤受益者負担金の減免・徴収猶予申請書について調査等事務処理。 ⑥受益者負担金の猶予地解除に伴う賦課台帳更正及び調定・請求等事務処理。 ⑦電算処理入力データ送付・データ打ち出し等に伴う変更等処理依頼。 ⑧法務局への調査、資産税課との連絡調整。								

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				26年度人員配置（人）		
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源			
24決算	1,767	14,140	15,907	0	0	13,395	2,512			
25当初予算	1,830	16,600	18,430	0	0	1,830	16,600	正規	1.70	アハハ 0.00
25決算	1,402	16,600	18,002	0	0	16,012	1,990	再任用	0.80	その他 0.00
26当初予算	1,898	17,700	19,598	0	0	1,898	17,700	任期付	0.40	合計 2.90

25年度 決算 事業費 明細	区分（節）	内容	金額	26年度 当初 予算 事業費 明細	区分（節）	内容	金額
		報償費	受益者負担金一括納付報償金		806		報償費
	需用費	事務用品、各種帳票印刷等	594		需用費	事務用品、各種帳票印刷等	486
	償還金利子及び割引料	過年度過誤納還付金	2		役務費	郵便振替手数料	1
					使用料及び賃借料	説明会会場借上料	11
					償還金利子及び割引料	過年度過誤納還付金	200
	合計		1,402		合計		1,898

平成26年度 事務事業点検シート

整理番号	0165001000-003	事務事業名	受益者負担金賦課徴収事務事業
------	----------------	-------	----------------

	指標名	考え方・定義・式	単位	24年度	25年度	26年度見込み
事業の成果	徴収実績	受益者負担金の徴収実績	千円	44,631	24,663	61,000
	指標で表せない成果					
	徴収率の向上(前年度比0.7ポイント上昇)					

	観点 (満たしていない観点到「×」)				
	不可欠性	市が実施する 必要性	有効性	金額の 妥当性	公平性
事業の評価・今後の方向性	現状の課題・今後の事業展開方針等				
	<p>下水道普及率が99.4%(H26.4.1)に達しており、今後、負担金を賦課する区域は私道関係や調整区域が多くなる。対象者への十分な理解を深めるためには、下水道部内各課の協力を仰ぎ、対象者へ十分な説明を行う等積極的に対応していく必要がある。</p> <p>徴収猶予額が316,776,673円(H26.4.1)あり、農地転用等により平成25年度で13,139,742円の猶予解除が発生している。今後、開発等による猶予解除を確実にを行うためには、現地調査の実施及び対象者への説明を積極的に行う必要がある。</p> <p>下水道事業の財源として重要な地位を占める事業であるため、現行のまま継続する。</p>				

平成26年度 事務事業点検シート

事務事業名		安全衛生委員会事務事業		新規/継続	継続事業	整理番号	0165001000 - 004		
				分割/統合					
関連 予算 科目	会計	下水道事業		事業の分割/ 統合の内容					
	款	下水道事業費		事業所管課	下水道部下水道総務課				
	項	下水道事業費		連絡先	(078)918-5048				
	目	下水道総務費		自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 44 年度		
	事業	安全衛生委員会事務事業		根拠法令 ・要綱等	労働安全衛生法、労働安全衛生法施行令、明石市職員安全衛生規則				
施策分野		5 都市基盤整備分野		実施方法	直営	○	補助・助成	その他	
		5-6 下水道の整備			委託		指定管理		
個別計画		下水道中期ビジョン『あかし下水道計画ガイド』							
事業 の 目的	対象（誰を・何を）								
	下水道部職員								
事業 内 容	意図（どういう状態にしたいのか）								
	作業手順の遵守と安全行動を実践し、公務災害が起きない職場をつくるとともに、健康管理の充実と健康づくりを促進し、心と体の健康を保つ。								
<p>①下水道部事業場安全衛生委員会を開催する。 【安全衛生委員会の開催状況】 平成24年度 12回 平成25年度 12回 平成26年度見込み 12回</p> <p>②下水道部事業場の安全衛生活動として産業医による職場巡視、安全衛生委員による安全パトロールを実施する。 【産業医巡視及び安全パトロールの実施状況】 平成24年度 4回 平成25年度 4回 平成26年度見込み 4回</p> <p>③事故のない安全で快適な職場環境づくりを推進するため、下水道部内において、酸素欠乏等危険作業特別教育講習会及び市民救命士講習会を実施する。 【酸素講習会及び市民救命士講習会の実施状況】 平成24年度 18名 平成25年度 20名 平成26年度 20名</p> <p>④作業現場での事故防止のため、酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者技能講習会に派遣する。 【酸素・硫化水素危険作業主任者技能講習会の実施状況】 平成24年度 6名 平成25年度 6名 平成26年度 4名</p> <p>⑤作業中の感染事故防止のため、破傷風予防接種を行う。 【破傷風予防接種の実施状況】 平成24年度 20名 平成25年度 22名 平成26年度見込み 34名</p>									

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				26年度人員配置（人）			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
24決算	176	3,220	3,396	0	0	0	3,396	正規	0.10	パート	0.00
25当初予算	231	3,210	3,441	0	0	231	3,210	再任用	0.70	その他	0.00
25決算	199	3,210	3,409	0	0	0	3,409	任期付	0.00	合計	0.80
26当初予算	273	3,200	3,473	0	0	273	3,200				

25年度 決算 事業費 明細	区分（節）	内容	金額	26年度 当初 予算 事業費 明細	区分（節）	内容	金額
		需用費	部内研修用図書等		29		旅費
	委託料	破傷風予防接種委託	47		需用費	部内研修用図書等	25
	負担金補助及び交付金	講習会参加費	123		委託料	破傷風予防接種委託	92
					負担金補助及び交付金	講習会参加費	141
	合計		199		合計		273

平成26年度 事務事業点検シート

整理番号	0165001000-004	事務事業名	安全衛生委員会事務事業
------	----------------	-------	-------------

	指標名	考え方・定義・式	単位	24年度	25年度	26年度見込み
事業の成果	部内の事故発生件数	安全衛生の推進のための活動の効果が表れれば事故が減少する。	件	1	0	1
	酸欠講習会及び市民救命士講習会の参加者数	職員の安全意識を高め、災害の無い安全で快適な職場環境づくりを推進する。	名	18	20	20
	指標で表せない成果					
・毎月開催の安全衛生委員会等を通して、職員の心と体の健康づくりを促進している。						

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
・引き続き、安全かつ快適な職場環境の下で職員が心身ともに健康な状態で業務に従事できるよう、事業を推進する。						

平成26年度 事務事業点検シート

整理番号	0165001000-005	事務事業名	貸付金・助成金事務事業
------	----------------	-------	-------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	24年度	25年度	26年度見込み
	貸付残高	貸付金元金	千円	5,301	4,079	3,700
	指標で表せない成果					

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
	現状の課題・今後の事業展開方針等					
下水道普及率が99%を超えた現在、未水洗家屋の水洗化が急務となっており、住民の快適な住環境を目指す事業であるため、また、過去に制度を利用した市民との公平性を維持するためにも現行のまま継続する。						

平成26年度 事務事業点検シート

事務事業名	長期債元金償還金		新規/継続	継続事業	整理番号	0165001000 - 006			
			分割/統合						
関連予算科目	会計	下水道事業	事業の分割/統合の内容						
	款	公債費							
	項	公債費	事業所管課	下水道部下水道総務課					
	目	元金	連絡先	(078)918-5048					
	事業	長期債元金償還金	自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 44 年度			
施策分野	5 都市基盤整備分野		根拠法令・要綱等	地方自治法					
	5-6 下水道の整備			実施方法	直営	○	補助・助成		その他
個別計画	下水道中期ビジョン『あかし下水道計画ガイド』		委託			指定管理			

事業の目的	対象（誰を・何を）									
	長期債の元金									
事業内容	意図（どういう状態にしたいのか）									
	償還表に基づき、借入先に償還を行う。									

事業内容	起債借入先に対して、半年毎に償還表に基づき、元金の償還を行う。																				
	【長期債元金の償還状況(千円)】 <table style="width: 100%; margin-top: 5px;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">償還額</th> <th style="text-align: center;">残高</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成24年度</td> <td style="text-align: right;">5,116,114</td> <td style="text-align: right;">62,331,172</td> </tr> <tr> <td>平成25年度</td> <td style="text-align: right;">3,812,821</td> <td style="text-align: right;">59,768,551</td> </tr> <tr> <td>平成26年度(見込み)</td> <td style="text-align: right;">3,789,900</td> <td style="text-align: right;">57,824,151</td> </tr> </tbody> </table>											償還額	残高	平成24年度	5,116,114	62,331,172	平成25年度	3,812,821	59,768,551	平成26年度(見込み)	3,789,900
	償還額	残高																			
平成24年度	5,116,114	62,331,172																			
平成25年度	3,812,821	59,768,551																			
平成26年度(見込み)	3,789,900	57,824,151																			

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				26年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
24決算	5,116,114	0	5,116,114	0	1,368,400	2,197,223	1,550,491	正規	0.00	ｱﾊﾞｲﾄ	0.00
25当初予算	3,813,000	0	3,813,000	0	0	2,187,283	1,625,717	再任用	0.00	その他	0.00
25決算	3,812,821	0	3,812,821	0	0	2,191,427	1,621,394	任期付	0.00	合計	0.00
26当初予算	3,789,900	0	3,789,900	0	0	2,178,237	1,611,663				

25年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	26年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
		償還金利息及び割引料	長期債元金償還金		3,812,821		償還金利息及び割引料
	合計		3,812,821		合計		3,789,900

平成26年度 事務事業点検シート

整理番号	0165001000-006	事務事業名	長期債元金償還金
------	----------------	-------	----------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	24年度	25年度	26年度見込み
	償還残高	償還金の残高	千円	62,331,172	59,768,551	57,824,151
	指標で表せない成果					

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
・今後も約定に基づき、引き続き遅滞のない償還を行う。						

平成26年度 事務事業点検シート

事務事業名	長期債利子	新規/継続	継続事業	整理番号	0165001000 - 007	
		分割/統合				
関連予算科目	会計	下水道事業	事業の分割/統合の内容			
	款	公債費	事業所管課	下水道部下水道総務課		
	項	公債費	連絡先	(078)918-5048		
	目	利子	自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 44 年度
	事業	長期債利子	根拠法令・要綱等	地方自治法		
施策分野	5 都市基盤整備分野	実施方法	直営	○	補助・助成	その他
	5-6 下水道の整備		委託		指定管理	
個別計画	下水道中期ビジョン『あかし下水道計画ガイド』					

事業の目的	対象（誰を・何を）	長期債の利子							
	意図（どういう状態にしたいのか）	償還表に基づき、借入先に償還を行う。							
事業内容	起債借入先に対して、半年毎に償還表に基づき、利子の償還を行う。								
	【長期債利子の償還状況(千円)】 <table style="margin-left: 20px;"> <tr><td>償還額</td><td></td></tr> <tr><td>平成24年度</td><td>1,578,871</td></tr> <tr><td>平成25年度</td><td>1,438,639</td></tr> <tr><td>平成26年度(見込み)</td><td>1,379,000</td></tr> </table>		償還額		平成24年度	1,578,871	平成25年度	1,438,639	平成26年度(見込み)
償還額									
平成24年度	1,578,871								
平成25年度	1,438,639								
平成26年度(見込み)	1,379,000								

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				26年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
24決算	1,578,871	0	1,578,871	0	0	954,043	624,828	正規	0.00	ｱﾊﾞｲﾄ	0.00
25当初予算	1,474,000	0	1,474,000	0	0	837,010	636,990	再任用	0.00	その他	0.00
25決算	1,438,639	0	1,438,639	0	0	715,567	723,072	任期付	0.00	合計	0.00
26当初予算	1,379,000	0	1,379,000	0	0	792,211	586,789				

25年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	26年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
		償還金利子及び割引料	長期債利子		1,438,639		償還金利子及び割引料
	合計		1,438,639		合計		1,379,000

平成26年度 事務事業点検シート

整理番号	0165001000-007	事務事業名	長期債利子
------	----------------	-------	-------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	24年度	25年度	26年度見込み
	償還額	償還金の額	千円	1,578,870	1,438,639	1,379,000
	指標で表せない成果					

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
・今後も約定に基づき、引き続き遅滞のない償還を行う。						

平成26年度 事務事業点検シート

整理番号	0165001000-008	事務事業名	起債前借及び一時借入金利息
------	----------------	-------	---------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	24年度	25年度	26年度見込み
	償還額	償還金の額	千円	0	0	5,000
	指標で表せない成果					

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
・今後も約定に基づき、引き続き遅滞のない償還を行う。						

平成26年度 事務事業点検シート

整理番号	0165001000-009	事務事業名	予備費
------	----------------	-------	-----

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	24年度	25年度	26年度見込み
	予備費充当額	事業の計画的な運営を推進すべく予備費の充当額を低くすることを成果指標とする。	千円	1,038	300	0
	指標で表せない成果					

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
・予備費は不測の事態にのみ執行するものとし、必要最小限に留める。						

平成26年度 事務事業点検シート

事務事業名		河川等改修事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0165002000 - 001		
			分割/統合					
関連 予算 科目	会計	一般会計	事業の分割/ 統合の内容					
	款	土木費	事業所管課	下水道部下水道管理課				
	項	河川費	連絡先	(078)918-5173				
	目	河川費	自治/法定	自治+法定	開始年度	不明		
	事業	河川等改修事業	根拠法令・要綱等	地方自治法、明石市法定外公物管理条例				
施策分野		5 都市基盤整備分野	実施方法	直営	○	補助・助成	その他	
		5-6 下水道の整備		委託		指定管理		
個別計画		下水道中期ビジョン『あかし下水道計画ガイド』						
事業 の 目的	対象（誰を・何を） 全市民、施設利用者							
	意図（どういう状態にしたいのか） 市内の河川、水路等について、利水及び排水機能を確保し、都市環境の保全に努める。							
事業 内容	①河川・水路等の維持管理 市内に設置されている延長約480kmのうち約4分の3を占めている市街化区域の水路の補修、清掃等の水路機能の確保を行っている。また、水路に関して地元自治会、水利組合等からの要望・苦情等（年間約200件）を受け改修工事を実施している。							
	②浸水対策工事 台風及び最近のゲリラ豪雨で浸水被害のあった箇所の対策工事をしており、平成26年度は水路改修、治水目的のゲートの設置などの工事を予定している。平成24年度13件、平成25年度11件の浸水対策工事を実施、平成26年度は10件を予定している。							

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				26年度人員配置（人）			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
24決算	47,029	17,640	64,669	0	0	0	64,669	正規	2.10	パート	0.00
25当初予算	47,657	17,430	65,087	0	0	0	65,087	再任用	0.00	その他	0.00
25決算	47,506	17,430	64,936	0	0	0	64,936	任期付	0.00	合計	2.10
26当初予算	47,573	17,220	64,793	0	0	0	64,793				

25年度 決算 事業費 明細	区分（節）	内容	金額	26年度 当初 予算 事業費 明細	区分（節）	内容	金額
		旅費	研修旅費等		106		旅費
	需用費	事務用品等	355		需用費	設計書印刷、河川管理施設修繕等	353
	委託料	境界確定測量委託	1,890		委託料	境界確定測量委託	1,890
	使用料及び賃借料	コピー使用料	106		使用料及び賃借料	コピー使用料	120
	工事請負費	市内水路維持補修工事	44,994		工事請負費	市内水路維持補修工事	45,000
	負担金補助及び交付金	研修参加費等	55		負担金補助及び交付金	研修参加費等	90
	合計		47,506		合計		47,573

平成26年度 事務事業点検シート

整理番号	0165002000-001	事務事業名	河川等改修事業
------	----------------	-------	---------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	24年度	25年度	26年度見込み
	浸水箇所の軽減	浸水箇所の対策工事の実施件数	箇所	13	11	10
	指標で表せない成果					
市民からの要望・苦情等を迅速に処理することで成果を上げている。						

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
今後も適切な水路施設の維持・補修を行い、利水及び排水機能の維持に努める。						

平成26年度 事務事業点検シート

整理番号	0165002000-002	事務事業名	河川美化事業
------	----------------	-------	--------

	指標名	考え方・定義・式	単位	24年度	25年度	26年度見込み
事業の成果	環境美化と生活環境の保全	二級河川(7河川)の河川区域の塵芥・雑草等を除去する。	m ²	155,000	155,000	155,000
	指標で表せない成果					

	観点 (満たしていない観点到「×」)					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
事業の評価・今後の方向性						
	現状の課題・今後の事業展開方針等					
今後も市民の要望に対して、委託者である兵庫県と調整を行い、環境美化と周辺的生活環境の保全を図る。						

平成26年度 事務事業点検シート

事務事業名	排水路浚渫事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0165002000 - 003	
		分割/統合				
関連予算科目	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容			
	款	土木費	事業所管課	下水道部下水道管理課		
	項	河川費	連絡先	(078)918-5173		
	目	河川費	自治/法定	自治+法定	開始年度	不明
	事業	排水路浚渫事業	根拠法令・要綱等	地方自治法、明石市法定外公共物管理条例		
施策分野	5 都市基盤整備分野 5-6 下水道の整備	実施方法	直営	<input type="radio"/>	補助・助成	<input type="checkbox"/>
個別計画	下水道中期ビジョン『あかし下水道計画ガイド』		委託	<input type="checkbox"/>	指定管理	<input type="checkbox"/>
				その他	<input type="checkbox"/>	

事業の目的	対象（誰を・何を）	全市民、施設利用者
	意図（どういう状態にしたいのか）	水路内に堆積した土砂、ヘドロ等を除去し水路の機能回復を行い、治水対策及び地域住民の生活環境の向上を図る。
	事業内容	市街化区域内の水路等について、悪臭の原因となるゴミや流水を阻害している土砂等の除去を地元自治会等から要望を受けており、平成24年度は113件、平成25年度は92件、平成26年度は100件の処理を見込んでいる。また、梅雨や台風時期及び、降雨が予想される時には、事前にパトロールを行い、市内のスクリーン(27箇所)の清掃を行っている。

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				26年度人員配置（人）			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
24決算	29,803	5,040	34,843	0	0	0	34,843	正規	0.60	ｱﾊﾞｲﾄ	0.00
25当初予算	30,000	4,980	34,980	0	0	0	34,980				
25決算	29,991	4,980	34,971	0	0	0	34,971	再任用	0.00	その他	0.00
26当初予算	30,000	4,920	34,920	0	0	0	34,920	任期付	0.00	合計	0.60

25年度決算事業費明細	区分（節）	内容	金額	26年度当初予算事業費明細	区分（節）	内容	金額
		工事請負費	排水路浚渫工事		29,991		工事請負費
	合計		29,991		合計		30,000

平成26年度 事務事業点検シート

整理番号	0165002000-003	事務事業名	排水路浚渫事業
------	----------------	-------	---------

	指標名	考え方・定義・式	単位	24年度	25年度	26年度見込み
事業の成果	治水対策及び生活環境の向上	地域住民の健全な生活環境の向上を図るため、水路の浚渫を行う。	箇所	113	92	100
	指標で表せない成果					

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
土砂の堆積を減少させる対策として水路の複断面化を推進し、浚渫事業の経費削減に取り組むとともに、それまでの間は従前の手法で生活環境の向上に努める。						

平成26年度 事務事業点検シート

事務事業名		管渠維持事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0165002000 - 004			
			分割/統合						
関連 予算 科目	会計	下水道事業	事業の分割/ 統合の内容						
	款	下水道事業費	事業所管課	下水道部下水道管理課					
	項	下水道事業費	連絡先	(078)918-5084					
	目	下水道維持費	自治/法定	自治事務	開始年度	不明			
	事業	管渠維持事業	根拠法令 ・要綱等	下水道法(3条)(23条)					
施策分野		5 都市基盤整備分野	実施方法	直営	○	補助・助成		その他	
		5-6 下水道の整備		委託	○	指定管理			
個別計画		下水道中期ビジョン『あかし下水道計画ガイド』							
事業 の 目的	対象（誰を・何を）								
	下水道管渠等施設								
事業 の 目的	意図（どういう状態にしたいのか）								
	生活環境の維持と水質保全のため、下水道管渠施設を常に良好な状態で使用できるよう適正な維持管理を行う。								
事業 内容	下水道管渠等施設の構造的安全性を保つために、日常的なパトロールを実施し、老朽管の調査、修繕を行っていくことによって機能性の確保を行う。平成25年度には発注工事により197枚、緊急対応により371枚の計568枚の人孔蓋取り替えを行っている。（平成24年度は計727枚の実績、平成26年度は計620枚の見込み）また、下水道台帳の整備をおこない、デジタル化を充実させることにより、施設管理の効率化・高度化を図り、的確な情報提供に努め、市民サービスの充実を図る。								

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				26年度人員配置（人）			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
24決算	165,637	67,200	232,837	0	0	182,163	50,674				
25当初予算	173,589	68,250	241,839	0	0	173,589	68,250	正規	6.50	ｱﾊﾞｲﾄ	0.00
25決算	159,639	68,250	227,889	0	0	203,020	24,869	再任用	2.00	その他	0.00
26当初予算	173,693	62,700	236,393	0	0	172,693	63,700	任期付	1.00	合計	9.50

25年度 決算 事業 費 明 細	区分（節）	内容	金額	26年度 当初 予算 事業 費 明 細	区分（節）	内容	金額
	需用費		維持管理用消耗品、管理施設修繕料等		3,740	需用費	
役務費		下水道賠償責任保険等	497	役務費		下水道賠償責任保険等	581
委託料		汚泥処分委託料等	8,865	委託料		汚泥処分委託料等	18,862
工事請負費		管渠施設維持管理等工事	126,600	工事請負費		管渠施設維持管理工事等	127,600
原材料費		人孔鉄蓋	19,168	原材料費		人孔鉄蓋	20,500
その他			769	その他			882
	合計		159,639		合計		173,693

平成26年度 事務事業点検シート

整理番号	0165002000-004	事務事業名	管渠維持事業
------	----------------	-------	--------

	指標名	考え方・定義・式	単位	24年度	25年度	26年度見込み
事業の成果	人孔蓋の緊急度1及び2の施設について、緊急対応または計画的に取り替える	委託により調査した人孔蓋を評価し、緊急度の高い施設より順次取り替えを行う。(発注工事+単価契約)	枚	727(275+452)	568(197+371)	620(220+400)
	台帳システムの整備	台帳システムにより部内業務の支援と維持管理業務の一元化を図り、日常業務の効率化と市民サービスの向上を図る。	m	10,351	7,670	10,000
指標で表せない成果						
人孔蓋の取り替えにより、一時的豪雨などに対して蓋の浮き上り防止や、住民の人孔への落ちこみを防止し、市民の安全確保を図れる。また、窓口に来る市民に対して、台帳システムによる説明を、わかりやすく伝えることができ、事務作業の効率を図れる。						

	観点 (満たしていない観点到「×」)					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
事業の評価・今後の方向性						
	現状の課題・今後の事業展開方針等					
老朽化した人孔鉄蓋の改築については、長寿命化計画を策定する事で、交付金を有効に活用し継続的かつ計画的に推し進める。管渠内の光ケーブルにし渣が絡み、管閉塞を起こす事例が頻発しているため、巡視点検を強化し、機能維持に努める。						

平成26年度 事務事業点検シート

事務事業名	水洗便所普及事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0165002000 - 005			
		分割/統合						
関連予算科目	会計	下水道事業	事業の分割/統合の内容					
	款	下水道事業費						
	項	水洗便所普及奨励費						
	目	水洗便所普及奨励費						
	事業	水洗便所普及事業						
施策分野	5 都市基盤整備分野		根拠法令・要綱等	下水道法 第11条の3 第10条				
	5-6 下水道の整備			実施方法	直営	○	補助・助成	
個別計画	下水道中期ビジョン『あかし下水道計画ガイド』		委託		○	指定管理		

事業の目的	対象（誰を・何を）	水洗化の促進
	意図（どういう状態にしたいのか）	<p>奨励方法・内容を充実し、効率よく効果を上げる。</p> <p>周辺環境の改善のため、100%の水洗化を図る。</p>
事業内容	①広報活動	水洗化工事に係る具体的な手続きや方法等について、日頃から住民に対し積極的に周知・普及活動を実施する。「広報あかし」に下水道に関する記事を掲載する。
	②水洗普及指導員による奨励（再任用職員1名 シルバー人材センター派遣1名）	水洗化への奨励については、2名の水洗普及指導員により、戸別訪問・文書送付等を行い、繰り返し指導をしている。留守宅については、休日にも指導を行い、水洗化率（平成24年度96.5%、平成25年度96.8%、平成26年度96.8%見込み）の向上を図る。（奨励件数は、平成24年度約4,600件、平成25年度約6,300件、平成26年度見込み6,100件）
	③私道における公共下水道布設制度のPR	私道における公共下水道布設可能箇所について、整備促進を図るため、積極的に地元説明会等を開催する。
	④新設取付管の設置	取付管が布設されていない宅地に対して、500㎡まで1箇所を公費で布設する工事を実施している。
	⑤取付管設置位置調査の業務委託	取付管設置位置調査・私道における既設管状況調査・年末年始等緊急対応業務委託を行うことにより、業務の効率化を図り、水洗普及の促進に資する。
	⑥排水設備管理システム移行業務委託	排水設備確認申請について基本データを入力し、台帳を作成する。台帳に基づき水洗化の確認及び水洗化の普及奨励等を行い、水洗普及を図る。

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				26年度人員配置（人）					
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源						
24決算	93,373	44,000	137,373	0	69,200	43,432	24,741						
25当初予算	93,526	45,250	138,776	0	89,200	2,163	47,413	正規	3.50	ｱﾊﾞｲﾄ	0.00		
25決算	93,178	45,250	138,428	0	94,100	20,275	24,053	再任用	4.00	その他	1.00		
26当初予算	98,067	48,300	146,367	0	89,200	4,599	52,568	任期付	1.00	合計	9.50		

25年度決算事業費明細	区分（節）	内容	金額	26年度当初予算事業費明細	区分（節）	内容	金額
	旅費	近接地出張旅費	4		26	旅費	近接地出張旅費
需用費	事務用品、各種帳票印刷等	582	26	需用費	事務用品、各種帳票印刷等	595	
役務費	自動車損害共済分担金等	11	26	委託料	取付管設置位置調査業務委託等	9,891	
委託料	取付管設置位置調査等業務委託ほか	5,181	26	工事請負費	取付管設置工事	87,400	
工事請負費	下水道各種施設及び取付管設置等工事	87,400	26	備品購入費	パソコン	150	
			26	その他		21	
	合計		93,178		合計	98,067	

平成26年度 事務事業点検シート

整理番号	0165002000-005	事務事業名	水洗便所普及事業
------	----------------	-------	----------

	指標名	考え方・定義・式	単位	24年度	25年度	26年度見込み
事業の成果	水洗普及事業による水洗化率の推移	水洗化済人口/水洗可能人口×100	%	96.5	96.8	96.8
	指標で表せない成果					

	観点（満たしていない観点到「×」）				
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性
事業の評価・今後の方向性	現状の課題・今後の事業展開方針等				
	概ね現状の規模、手法の継続を基本に、未水洗者との協議を深め、勸奨事業の促進を図っていく。				

平成26年度 事務事業点検シート

事務事業名		水質指導事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0165003000 - 001		
			分割/統合					
関連予算科目	会計	下水道事業	事業の分割/統合の内容					
	款	下水道事業費	事業所管課	下水道部下水道施設課				
	項	下水道事業費	連絡先	(078)934-3425				
	目	下水道維持費	自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 47 年度		
	事業	水質指導事業	根拠法令・要綱等	下水道法、明石市下水道条例				
施策分野		5 都市基盤整備分野	実施方法	直営	○	補助・助成	その他	
		5-6 下水道の整備		委託		指定管理		
個別計画		下水道中期ビジョン『あかし下水道計画ガイド』						

事業の目的	対象（誰を・何を）									
	公共下水の水質 公共下水道接続事業場等									
事業の内容	意図（どういう状態にしたいのか）									
	浄化センターの汚水処理(水処理)について、水質調査等を通して水処理工程の現状を把握し、良好な状態を維持できるよう努めている。また、水処理トラブル時には浄化センターとの共同作業で適正な水処理状態に回復させ、水処理トラブルの原因にもなる公共下水道接続事業場等が、常に排除基準以下の水質で排水されるように指導している。									

事業の内容	①下水道法第21条に基づく水質検査として、毎月2回浄化センターに入る流入水及び放流水の精密検査及び評価を実施。 ②合流式下水道の放流水質改善を図るため、雨天時水質検査及び評価を実施。 ③水処理工程の現状把握のため、簡易項目による日常調査及び運転操作の変更等の助言を実施。 ④水処理工程の状況把握のため、4浄化センターにおいて処理別に詳細項目による工程調査及び評価を実施。 ⑤水処理工程の経時変化の状況把握のため、年2回、2時間毎に流入水や放流水等の通日調査、統計処理及び評価を実施。 ⑥兵庫県播磨灘周辺自治体で検討会を実施中の豊かな海づくり構想の実現のため、二見浄化センターで実施している栄養塩管理運転の特別水質調査、現状解析及び運転変更指示等により、栄養塩を主とした水質のコントロールを実現。 ⑦大久保浄化センター敷地内井戸水の灌漑用水利用のため、塩素イオンの水質検査を適宜実施。また、処理水の親水性用水として活用できるかを見るため、水質検査を年1回実施。 ⑧その他、必要に応じて各種水質調査及び発生原因の特定や善後策の検討を実施。 ⑨下水道法及び明石市下水道条例に基づく特定施設、除外施設等の届出受理、審査及び指導事務を実施。 ⑩下水道法に基づく特定事業場を中心に不定期に立入水質検査、状況確認及び排水指導を実施。 ⑪排除基準超過事業場に、適正な維持管理方法及び排除基準遵守の指導を実施。 ⑫土壌汚染対策法の指定を受けている下水道法上特定事業場の照会や相談業務を実施。 ⑬環境保全協定に基づく締結事業場の指導、相談及び事前協議や審査を実施。									
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				26年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
24決算	6,602	29,570	36,172	0	0	7,200	28,972	正規	3.16	ｱﾊﾞｲﾄ	0.00
25当初予算	8,616	20,960	29,576	0	0	0	29,576	再任用	1.00	その他	0.00
25決算	8,088	20,960	29,048	0	0	10,208	18,840	任期付	0.11	合計	4.27
26当初予算	6,994	29,598	36,592	0	0	0	36,592				

25年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	26年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	旅費	近接地旅費	7		20	旅費	近接地旅費
需用費	分析関係消耗品及び試薬他	1,767	1,952	需用費	分析関係消耗品及び試薬他	1,952	
役務費	公用車損害共済分担金他	110	50	役務費	公用車損害共済分担金他	50	
委託料	水質分析業務等委託	4,180	3,605	委託料	事業所立入時採水分析他	3,605	
備品購入費	水質分析備品等	2,024	1,340	備品購入費	水質分析備品等	1,340	
			27	その他		27	
	合計	8,088	6,994		合計	6,994	

平成26年度 事務事業点検シート

整理番号	0165003000-001	事務事業名	水質指導事業
------	----------------	-------	--------

	指標名	考え方・定義・式	単位	24年度	25年度	26年度見込み
事業の成果	事業場立入調査実績	市内公共下水道接続事業場に対して不定期に立入調査を実施することにより、下水道排除基準の遵守を徹底させていく。	件	114	116	110
	下水道排除基準超過事業場指導実施後の改善率	下水道排除基準超過発覚後の指導による基準遵守状態への回復の度合いを数値化。 超過後回復件数/基準超過件数×100	%	50	57	70
指標で表せない成果						
<ul style="list-style-type: none"> ・水処理工程の水質検査及び評価を頻繁に行うことにより、水処理工程の不良化を未然に防ぎ、継続して非常に良好な放流水質を維持し、公衆衛生の向上及び公共用水域の水質の保全に大きく貢献している。 ・不定期に行う事業場への立入水質調査等により、市内事業場における下水道水質事故は発生しておらず、有害物質等の異常流入水を未然に防ぐことに貢献している。 						

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
<p>当事業のうち、各浄化センターの水質に関する検査や調査においては、将来性や社会情勢、他都市の状況を考慮した適正かつ効率的な手法のあり方について検討を行う。</p> <p>また、下水道法に基づく特定事業等への規制業務は、本来下水道処理場で処理が不可能なものを規制する上で重要であり、継続して実施する。</p>						

平成26年度 事務事業点検シート

事務事業名	朝霧浄化センター維持事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0165003000 - 002		
		分割/統合					
関連予算科目	会計	下水道事業	事業の分割/統合の内容				
	款	下水道事業費					
	項	下水道事業費					
	目	下水道維持費					
	事業	朝霧浄化センター維持事業					
施策分野	5 都市基盤整備分野		事業所管課	下水道部下水道施設課			
	5-6 下水道の整備		連絡先	(078)934-3425			
個別計画	下水道中期ビジョン『あかし下水道計画ガイド』		自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 61 年度	
			根拠法令・要綱等	下水道法、公害対策基本法 水質汚濁防止法、電気事業法、等			
実施方法			直営	○	補助・助成	その他	
			委託		指定管理		

事業の目的	対象（誰を・何を）	朝霧浄化センター処理区内348haに居住する市民、及び同区内から排水される汚水。
	意図（どういう状態にしたいのか）	住民が快適に生活を送れるよう、安全にかつ安定して汚水を処理する。

事業内容	① 汚水処理量 : 日平均 平成24年度実績 10,177m ³ 平成25年度実績 9,924m ³ 平成26年度見込み 10,100m ³
	② 維持管理 : 平成23年度から船上浄化センターにおいて遠隔操作を行い維持管理を行う。
③ 点検業務 : 日常点検(毎日)、計装設備点検(年一回)、消防設備点検(年二回)、受変電直流自家発点検(年一回)	
④ マニュアル類 : 大雨対応訓練実施(年一回)、危機管理マニュアル作成	
⑤ 地元対応 : 敷地内に、会議棟、多目的広場を設け近隣自治会に開放している。	
⑥ 省エネルギー : 省エネ法(エネルギーの使用の合理化に関する法律)の改正により明石市全体での管理体制に変わり、平成22年度から対象施設に含まれることになった。今後は、機器更新にも省エネを考慮する必要もあり、それに対する予算措置も重要な課題である。	

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				26年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
24決算	104,330	42,040	146,370	0	0	113,781	32,589	正規	5.34	ｱﾊﾞｲﾄ	0.00
25当初予算	110,970	38,396	149,366	0	0	110,970	38,396				
25決算	127,969	38,396	166,365	0	0	161,510	4,855	再任用	0.10	その他	0.26
26当初予算	111,143	45,688	156,831	0	0	111,143	45,688	任期付	0.26	合計	5.96

25年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	26年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	需用費	一般消耗品、薬品費、電気料金等	57,075		需用費	一般消耗品、薬品費、電気料金等	49,758
役務費	専用回線、火災保険	505	役務費	専用回線、火災保険	610		
委託料	汚泥運搬業務、中央監視制御設備保守点検業務等	29,966	委託料	汚泥運搬業務、中央監視制御設備保守点検業務等	30,060		
使用料及び賃借料	テレビ受信料	14	使用料及び賃借料	テレビ受信料	15		
工事請負費	保全工事	39,921	工事請負費	機械電気定期保全等	30,700		
備品購入費	赤外線水分計等	488					
合計			127,969	合計			111,143

平成26年度 事務事業点検シート

整理番号	0165003000-002	事務事業名	朝霧浄化センター維持事業
------	----------------	-------	--------------

	指標名	考え方・定義・式	単位	24年度	25年度	26年度見込み
事業の成果	単位流量あたりのコスト	処理流量に対していくら費用がかかっているかを見る	円/㎡	39	35	30
	電力使用量	一年間の電力使用量	千KWH	1,695	1,739	1,751
指標で表せない成果						
・施設の管理・清掃も適切に行われており、処理場で発生する臭気による市民からの苦情も減少している。						

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
<p>現状の課題としては、突発的なゲリラ豪雨の対応に課題があり、他の浄化センターも含め維持管理の強化が必要である。</p> <p>今後の事業展開方針としては、市民の快適な生活を維持するためには、下水処理場の役割は重要である。一方で明石市全体の人口の減少や汚水流入量の減少が予想される中、朝霧浄化センターの位置づけとしては、ネットワーク計画事業に基づき、より効率の良い整備や維持管理体制の見直しも必要であり、施設の統廃合を推進する。</p>						

平成26年度 事務事業点検シート

事務事業名	船上浄化センター維持事業		新規/継続	継続事業	整理番号	0165003000 - 003				
			分割/統合							
関連予算科目	会計	下水道事業	事業の分割/統合の内容							
	款	下水道事業費							事業所管課	下水道部下水道施設課
	項	下水道事業費	連絡先	(078)934-3425						
	目	下水道維持費	自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 46 年度				
	事業	船上浄化センター維持事業	根拠法令・要綱等	下水道法、公害対策基本法 水質汚濁防止法、電気事業法、等						
施策分野	5 都市基盤整備分野		実施方法		直営	○	補助・助成	□	その他	□
	5-6 下水道の整備				委託	○	指定管理	□	□	□
個別計画	下水道中期ビジョン『あかし下水道計画ガイド』									

事業の目的	対象（誰を・何を）	船上浄化センター処理区内775haに居住する市民、及び同区内から排水される汚水と雨水
	意図（どういう状態にしたいのか）	住民が快適に生活を送れるよう、安全にかつ安定して汚水を処理し雨水を速やかに排除する。

事業内容	① 汚水処理量 : 日平均 平成24年度実績 23,504m ³ 平成25年度実績 25,751m ³ 平成26年度見込み 26,196m ³	
	② 点検業務 : 日常点検(毎日)、計装設備点検(年一回)、消防設備点検(年二回)、受変電直流自家発点検(年一回)	
	③ マニュアル類 : 大雨対応訓練実施(年一回)、危機管理マニュアル作成	
	④ 地元対応 : 地元イベントへの協力。施設内の樹木の剪定。	
	⑤ 省エネルギー : 省エネ法(エネルギーの使用の合理化に関する法律)の改正により明石市全体での管理体制に変わり、平成22年度から対象施設に含まれることになった。今後は、機器更新にも省エネを考慮する必要もあり、それに対する予算措置も重要な課題である。	

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				26年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
24決算	260,730	73,960	334,690	0	0	284,349	50,341	正規	7.45	ｱﾊﾞｲﾄ	0.00
25当初予算	283,236	67,446	350,682	0	0	283,236	67,446	再任用	0.10	その他	0.26
25決算	273,187	67,446	340,633	0	0	344,791	-4,158	任期付	0.26	合計	8.07
26当初予算	316,301	62,990	379,291	0	0	316,301	62,990				

25年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	26年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	需用費	一般消耗品、薬品費、電気料金等	126,756		需用費	一般消耗品、薬品費、電気料金等	136,228
役務費	電話回線、手数料、火災保険等	5,978	役務費	電話回線、手数料、火災保険等	10,004		
委託料	計装設備点検、消防設備点検等	96,755	委託料	計装設備点検、消防設備点検等	111,222		
工事請負費	機械電気定期保全等	42,837	工事請負費	機械電気定期保全等	58,700		
備品購入費	公用車	763	備品購入費	非接触温度計	49		
その他		98	その他		98		
合計			273,187	合計			316,301

平成26年度 事務事業点検シート

整理番号	0165003000-003	事務事業名	船上浄化センター維持事業
------	----------------	-------	--------------

	指標名	考え方・定義・式	単位	24年度	25年度	26年度見込み
事業の成果	単位流量あたりのコスト	処理流量に対していくら費用がかかっているかを見る	円/m ³	35	26	29
	電力使用量	一年間の電力使用量	千KWH	4,250	4,367	4,443
指標で表せない成果						
・本処理区は合流地域である為、雨水を速やかに排除して、処理区内の冠水防止に寄与している。						

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
現状の課題としては、施設の老朽化が進み更新時期を過ぎている中で、ネットワーク計画の進展状況に合わせた、効率の良い施設整備や維持管理の強化が必要である。 今後の事業展開方針としては、市民の快適な生活を維持するためには、下水処理場の役割は重要である。一方で明石市全体の人口の減少や汚水流入量の減少が予想される中、船上浄化センターの位置づけとしては、ネットワーク計画事業に基づき、より効率の良い整備や維持管理体制の見直しも必要であり、業務の委託化や施設の統廃合を推進する。						

平成26年度 事務事業点検シート

事務事業名	大久保浄化センター維持事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0165003000 - 004		
		分割/統合					
関連予算科目	会計	下水道事業	事業の分割/統合の内容				
	款	下水道事業費					
	項	下水道事業費					
	目	下水道維持費					
	事業	大久保浄化センター維持事業					
施策分野	5 都市基盤整備分野		事業所管課	下水道部下水道施設課			
	5-6 下水道の整備			連絡先	(078)934-3425		
個別計画	下水道中期ビジョン『あかし下水道計画ガイド』		自治/法定		自治事務		開始年度
				根拠法令・要綱等	下水道法、公害対策基本法 水質汚濁防止法、電気事業法、等		
		実施方法	直営		○	補助・助成	
			委託	○	指定管理		

事業の目的	対象（誰を・何を）	大久保浄化センター処理区内1237haに居住する市民、及び同区内から排水される汚水。
	意図（どういう状態にしたいのか）	住民が快適に生活を送れるよう、安全にかつ安定して汚水を処理する。 下水道に関する展示PR施設として市民に広く周知する。

事業内容	① 汚水処理量 : 日平均 平成24年度実績 26,036m ³ 平成25年度実績 25,115m ³ 平成26年度見込み 25,894m ³	
	② 点検業務 : 日常点検(毎日)、計装設備点検(年一回)、消防設備点検(年二回)、受変電直流自家発点検(年一回)	
	③ マニュアル類 : 大雨対応訓練実施(年一回)、危機管理マニュアル作成	
	④ 地元対応 : 開放施設(せせらぎ水路、グランド、会議棟、テニスコート)を設け地元へ開放。樹木の剪定。	
	⑤ 省エネルギー : 省エネ法(エネルギーの使用の合理化に関する法律)により、大久保浄化センターは第二種エネルギー管理指定工場である。毎年1%のエネルギーを低減させることが義務付けられており、目標達成のためには、機器更新の際にも省エネを考慮する必要がある。	
	⑥ 広報活動 : 見学者の受け入れを6月末まで実施、7月以降は未定。	

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				26年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
24決算	287,321	58,105	345,426	0	0	313,348	32,078	正規	5.53	ｱﾊﾞｲﾄ	0.00
25当初予算	309,326	50,406	359,732	0	0	309,326	50,406	再任用	0.50	その他	0.66
25決算	307,328	50,406	357,734	0	0	387,881	-30,147	任期付	0.26	合計	6.95
26当初予算	368,859	49,966	418,825	0	0	330,888	87,937				

25年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	26年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	需用費	一般消耗品、薬品費、電気料金等	158,955		需用費	一般消耗品、薬品費、電気料金等	178,658
役務費	電話回線、手数料、火災保険等	2,040	役務費	電話回線、手数料、火災保険等	2,192		
委託料	計装設備点検、消防設備点検等	98,533	委託料	計装設備点検、消防設備点検等	122,592		
使用料及び賃借料	発電機賃借料等	479	工事請負費	機械電気定期保全等	63,300		
工事請負費	機械電気定期保全等	46,792	備品購入費	赤外線水分計等	1,130		
その他		529	その他		987		
合計			307,328	合計			368,859

平成26年度 事務事業点検シート

整理番号	0165003000-004	事務事業名	大久保浄化センター維持事業
------	----------------	-------	---------------

	指標名	考え方・定義・式	単位	24年度	25年度	26年度見込み
事業の成果	単位流量あたりのコスト	処理流量に対していくら費用がかかっているかを見る	円/m ³	36	32	38
	電力使用量	一年間の電力使用量	千KWH	7,591	7,714	7,953
指標で表せない成果						
谷八木川の水質改善に役立っている。 せせらぎ水路などを利用して、環境保全や下水道の広報活動に寄与している。						

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
現状の課題としては、通常時は十分機能を発揮できる状態であるが、突発的なゲリラ豪雨の対応に課題があり、他の浄化センターも含めた維持管理の強化が必要である。 今後の事業展開方針としては、市民の快適な生活を維持するためには、下水処理場の役割は重要である。一方で明石市全体の人口の減少や汚水流入量の減少が予想される中、大久保浄化センターの位置づけとしては、ネットワーク計画事業に基づき、末端の処理施設として、より効率の良い施設整備や維持管理体制の見直しも必要であり、業務の委託化や施設の統廃合を推進する。						

平成26年度 事務事業点検シート

事務事業名	二見浄化センター維持事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0165003000 - 005		
		分割/統合					
関連予算科目	会計	下水道事業	事業の分割/統合の内容				
	款	下水道事業費	事業所管課	下水道部下水道施設課			
	項	下水道事業費	連絡先	(078)934-3425			
	目	下水道維持費	自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 56 年度	
	事業	二見浄化センター維持事業	根拠法令・要綱等	下水道法、公害対策基本法 水質汚濁防止法、電気事業法、等			
施策分野	5 都市基盤整備分野		実施方法	直営	○	補助・助成	その他
	5-6 下水道の整備			委託	○	指定管理	
個別計画	下水道中期ビジョン『あかし下水道計画ガイド』						

事業の目的	対象（誰を・何を）	二見浄化センター処理区内1691haに居住する市民、及び同区内から排水される汚水と雨水（一部地域）
	意図（どういう状態にしたいのか）	住民が快適に生活を送れるよう、安全にかつ安定して汚水を処理し雨水を速やかに排除する。
	事業内容	① 汚水処理量 : 日平均 平成24年度実績 34,981m ³ 平成25年度実績 33,565m ³ 平成26年度見込み 33,347m ³ ② 汚泥焼却量 : 平成24年度実績 日平均 64,077kg (フェニックス搬出量、日平均 2,964kg) 平成25年度実績 日平均 58,386kg (フェニックス搬出量、日平均 2,623kg) 平成26年度見込み 日平均 57,814kg (フェニックス搬出量、日平均 2,561kg) ③ 点検業務 : 日常点検(毎日)、計装設備点検(年一回)、消防設備点検(年二回)、受変電直流自家発点検(年一回) ④ マニュアル類 : 大雨対応訓練実施(年一回)、危機管理マニュアル作成 ⑤ 地元対応 : 硝化抑制運転の試行(豊かな里海、海苔養殖業者からの要望により)。樹木の剪定。 ⑥ 省エネルギー : 省エネ法(エネルギーの使用の合理化に関する法律)により、二見浄化センターは第一種エネルギー管理指定工場である。毎年エネルギーを1%低減させることを義務付けられており、目標達成のためには、機器更新の際に省エネを考慮する必要がある。

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				26年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
24決算	535,693	68,120	603,813	0	0	584,219	19,594	正規	9.31	アハハ	0.00
25当初予算	604,435	66,676	671,111	0	0	604,435	66,676				
25決算	563,605	66,676	630,281	0	0	711,329	-81,048	任期付	0.26	合計	10.63
26当初予算	576,321	80,622	656,943	0	0	339,423	317,520				

25年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	26年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	需用費	一般消耗品、薬品費、電気料金等	279,825		279,825	需用費	一般消耗品、薬品費、電気料金等
役務費	電話回線、手数料、火災保険等	2,270	2,270	役務費	電話回線、手数料、火災保険等	3,491	
委託料	計装設備点検、消防設備点検等	98,235	98,235	委託料	計装設備点検、消防設備点検等	135,453	
工事請負費	機械電気定期保全等	182,665	182,665	工事請負費	機械電気定期保全等	158,800	
備品購入費	ガス検知器等	439	439	備品購入費	公用車等	1,233	
その他		171	171	その他		406	
合計			563,605	合計			576,321

平成26年度 事務事業点検シート

整理番号	0165003000-005	事務事業名	二見浄化センター維持事業
------	----------------	-------	--------------

	指標名	考え方・定義・式	単位	24年度	25年度	26年度見込み
事業の成果	単位流量あたりのコスト	処理流量に対していくらか費用がかかっているかを見る	円/m ³	46	44	45
	電力使用量	一年間の電力使用量	千KWH	11,664	11,174	11,101

指標で表せない成果

- ・「豊かな海」構想が進められている現状を考慮し、二見浄化センターでは「硝化抑制運転」の試行を続けている。他市に先駆けたこういう取り組みが、明石の地場産業である「のり養殖」の振興に一定の役割を果たしているのではと考える。
- ・市内各浄化センターから発生する脱水汚泥を含め、本浄化センターで焼却処理を行っている。
- ・平成23年度からは魚住清掃工場の廃止に伴い、し尿及び浄化槽汚泥の受入処理を行っている。

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
<p>現状の課題としては、通常時は十分機能を発揮できる状態であるが、突発的なゲリラ豪雨の対応に課題があり、他の浄化センターも含めた維持管理の強化が必要である。</p> <p>今後の事業展開方針としては、市民の快適な生活を維持するためには、下水処理場の役割は重要である。一方で明石市全体の人口の減少や汚水流入量の減少が予想される中、二見浄化センターの位置づけとしては、ネットワーク計画事業に基づき、末端の処理施設として、より効率の良い施設整備や維持管理体制の見直しも必要であり、業務の委託化や施設の統廃合を推進する。</p>						

平成26年度 事務事業点検シート

事務事業名	朝霧ポンプ場維持事業		新規/継続	継続事業	整理番号	0165003000 - 006				
			分割/統合							
関連予算科目	会計	下水道事業	事業の分割/統合の内容							
	款	下水道事業費	事業所管課	下水道部下水道施設課						
	項	下水道事業費	連絡先	(078)934-3425						
	目	下水道維持費	自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 61 年度				
	事業	朝霧ポンプ場維持事業	根拠法令・要綱等	下水道法、公害対策基本法 水質汚濁防止法、電気事業法、等						
施策分野	5 都市基盤整備分野		実施方法	直営	○	補助・助成				その他
	5-6 下水道の整備			委託		指定管理				
個別計画	下水道中期ビジョン『あかし下水道計画ガイド』									

事業の目的	対象（誰を・何を）	朝霧ポンプ場集水区内303haに居住する市民、及び同区内から排水される汚水。ならびに同集水区内12haの雨水。								
	意図（どういう状態にしたいのか）	住民が快適に生活を送れるよう、安全にかつ迅速に汚水を朝霧浄化センターに圧送する。								
事業内容	<p>① 汚水圧送量 : 日平均 平成24年度実績 7,681m³ 平成25年度実績 7,596m³ 平成26年度見込み 7,489m³</p> <p>② 維持管理 : 平成23年度から船上浄化センターにおいて遠隔操作を行い維持管理を行う。</p> <p>③ 点検業務 : 日常点検(毎日)、受電点検(月一回)、計装設備点検(年一回)、消防設備点検(年二回)、受変電直流自家発点検(年一回)</p> <p>④ マニュアル類 : 大雨対応訓練実施(年一回)、危機管理マニュアル作成。</p> <p>⑤ 地元対応 : 会議室を近隣自治会に開放。施設内の樹木の剪定。</p> <p>⑥ 省エネルギー : エネルギーの使用の合理化に関する法律の改正により、明石市全体での管理体制に変わり、平成22年度から対象施設に含まれることになった。今後は、機器更新にも省エネを考慮する必要もあり、それに対する予算措置も重要な課題である。</p>									

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				26年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
24決算	13,756	23,535	37,291	0	0	15,002	22,289				
25当初予算	20,263	21,708	41,971	0	0	20,263	21,708	正規	2.19	ｱﾙﾊﾞｲﾄ	0.00
25決算	32,262	21,708	53,970	0	0	40,718	13,252	再任用	0.00	その他	0.06
26当初予算	25,574	18,422	43,996	0	0	25,574	18,422	任期付	0.10	合計	2.35

25年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	26年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	需用費	電気料金、処理施設修繕(緊急)等	12,349			需用費	一般消耗品、電気料金、処理施設修繕(緊急)等
役務費	建物損害共済基金分担金等	158		役務費	建物損害共済基金分担金等	261	
委託料	計装設備点検、消防設備点検等	2,124		委託料	浚渫汚泥最終処分業務等	3,003	
工事請負費	機械電気定期保全等	17,631		工事請負費	機械電気定期保全等	10,400	
	合計		32,262		合計		25,574

平成26年度 事務事業点検シート

整理番号	0165003000-006	事務事業名	朝霧ポンプ場維持事業
------	----------------	-------	------------

	指標名	考え方・定義・式	単位	24年度	25年度	26年度見込み
事業の成果	単位流量あたりのコスト	送水流量に対していくら費用がかかっているかを見る	円/m ³	13	12	9
	電力量	年間の総電力使用量	千KWh	460	462	456
指標で表せない成果						
朝霧ポンプ場集水区内(303ha)から排水される汚水を圧送して生活環境を維持している。						

事業の評価・今後の方向性	観点 (満たしていない観点到「×」)					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
現状の課題としては、浄化センターも含め十分な機能を発揮できる状態に維持することが必要である。 今後の事業展開方針としては、ネットワーク計画事業に基づき、より効率の良い整備や維持管理体制の見直しも必要であり、業務の委託化や施設の統廃合を推進する。						

平成26年度 事務事業点検シート

事務事業名 林ポンプ場維持事業		新規/継続	継続事業	整理番号	0165003000 - 007		
		分割/統合					
関連 予算 科目	会計	下水道事業					
	款	下水道事業費					
	項	下水道事業費					
	目	下水道維持費					
	事業	林ポンプ場維持事業					
施策分野		5 都市基盤整備分野					
		5-6 下水道の整備					
個別計画		下水道中期ビジョン『あかし下水道計画ガイド』					
事業 の 目的	対象（誰を・何を）						
	林ポンプ場集水区内180haに居住する市民、及び同区内から排水される汚水。ならびに同集水区内25haの雨水。						
	意図（どういう状態にしたいのか）						
住民が快適に生活を送れるよう、安全にかつ迅速に、汚水を船上浄化センターに圧送する。 住民が快適に生活を送れるよう、安全にかつ迅速に、雨水を排除する。							
事業 内容	① 汚水圧送量 : 日平均 平成24年度実績 4,159m ³ 平成25年度実績 4,954m ³ 平成26年度見込み 4,905m ³						
	② 雨水排除量 : 日平均 平成24年度実績 1,712m ³ 平成25年度実績 3,092m ³ 平成26年度見込み 2,403m ³						
	③ 点検業務 : 日常点検(毎日)、受電点検(月一回)、計装設備点検(年一回)、消防設備点検(年二回)、受変電直流自家発点検(年一回)						
	④ マニュアル類 : 大雨対応訓練実施(年一回)、危機管理マニュアル作成						
	⑤ 地元対応 : 会議室を近隣自治会に開放。施設内の樹木の剪定。						
	⑥ 省エネルギー : エネルギーの使用の合理化に関する法律の改正により明石市全体での管理体制に変わり、平成22年度から対象施設に含まれることになった。今後は、機器更新にも省エネを考慮する必要もあり、それに対する予算措置も重要な課題である。						

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				26年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
24決算	15,798	23,535	39,333	0	0	17,229	22,104				
25当初予算	27,917	22,040	49,957	0	0	27,917	22,040	正規	2.19	ｱｼﾞﾊﾞｲﾄ	0.00
25決算	7,931	22,040	29,971	0	0	10,009	19,962	再任用	0.00	その他	0.06
26当初予算	22,456	18,422	40,878	0	0	22,456	18,422	任期付	0.10	合計	2.35

25年度 決算 事業費 明細	区分(節)	内容	金額	26年度 当初 予算 事業費 明細	区分(節)	内容	金額
		需用費	一般消耗品、電気料金、処理施設修繕(緊急)等		5,111		需用費
	役務費	建物損害共済基金分担金等	31		役務費	建物損害共済基金分担金	119
	委託料	計装設備点検、消防設備点検等	2,789		委託料	計装設備点検、消防設備点検業務等	3,037
					工事請負費	機械電気定期保全等	13,800
	合計		7,931		合計		22,456

平成26年度 事務事業点検シート

整理番号	0165003000-007	事務事業名	林ポンプ場維持事業
------	----------------	-------	-----------

	指標名	考え方・定義・式	単位	24年度	25年度	26年度見込み
事業の成果	単位流量あたりのコスト	送水流量に対していくら費用がかかっているかを見る	円/m ³	26	4	12
	電力量	年間の総電力使用量	千KWh	158	165	163
指標で表せない成果						
林ポンプ場集水区内(25ha)の雨水を排除して、同区内の冠水防止に寄与している。						

事業の評価・今後の方向性	観点 (満たしていない観点到「×」)					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
現状の課題としては、浄化センターも含め十分な機能を発揮できる状態に維持することが必要である。 今後の事業展開方針としては、ネットワーク計画事業に基づき、より効率の良い整備や維持管理体制の見直しも必要であり、業務の委託化や施設の統廃合を推進する。						

平成26年度 事務事業点検シート

事務事業名	藤江ポンプ場維持事業		新規/継続	継続事業	整理番号	0165003000 - 008		
			分割/統合					
関連予算科目	会計	下水道事業	事業の分割/統合の内容					
	款	下水道事業費						
	項	下水道事業費	連絡先	(078)934-3425				
	目	下水道維持費	自治/法定	自治事務	開始年度	平成 9 年度		
	事業	藤江ポンプ場維持事業	根拠法令・要綱等	下水道法、公害対策基本法 水質汚濁防止法、電気事業法、等				
施策分野	5 都市基盤整備分野		実施方法		直営	○	補助・助成	その他
	5-6 下水道の整備				委託	指定管理		
個別計画	下水道中期ビジョン『あかし下水道計画ガイド』							

事業の目的	対象（誰を・何を）	藤江ポンプ場集水区内113haに居住する市民、及び同区内から排水される汚水。						
	意図（どういう状態にしたいのか）	住民が快適に生活を送れるよう、安全にかつ迅速に汚水を大久保浄化センターに圧送する。						

事業内容	① 汚水圧送量 : 日平均 平成24年度実績 3,995m ³ 平成25年度実績 5,121m ³ 平成26年度見込み 4,178m ³ ② 点検業務 : 日常点検(毎日)、計装設備点検(年一回) ③ マニュアル類 : 大雨対応訓練実施(年一回)、危機管理マニュアル作成 ④ 省エネルギー : エネルギーの使用の合理化に関する法律の改正により、明石市全体での管理体制に変わり、平成22年度から対象施設に含まれることになった。今後は、機器更新にも省エネを考慮する必要もあり、それに対する予算措置も重要な課題である。							
------	--	--	--	--	--	--	--	--

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				26年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
24決算	10,706	15,935	26,641	0	0	11,676	14,965	正規	1.85	ｱﾊﾞｲﾄ	0.00
25当初予算	7,049	14,434	21,483	0	0	7,049	14,434				
25決算	7,793	14,434	22,227	0	0	9,836	12,391	再任用	0.10	その他	0.16
26当初予算	6,489	16,314	22,803	0	0	6,489	16,314	任期付	0.10	合計	2.21

25年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	26年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	需用費	電気料金等	3,594		26	需用費	処理施設修繕(緊急)、電気料金等
役務費	火災保険料等	7	26	役務費	火災保険料等	7	
委託料	計装設備点検、浚渫汚泥最終処分業務等	517	26	委託料	計装設備点検、浚渫汚泥最終処分業務	570	
工事請負費	機械電気定期保全等	3,675	26	工事請負費	機械電気定期保全等	2,200	
合計			7,793	合計			6,489

平成26年度 事務事業点検シート

整理番号	0165003000-008	事務事業名	藤江ポンプ場維持事業
------	----------------	-------	------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	24年度	25年度	26年度見込み
	単位流量あたりのコスト	送水流量に対していくら費用がかかっているかを見る	円/m ³	18	5	4
	電力使用量	一年間の電力使用量	千KWH	152	155	127
指標で表せない成果						
汚水や雨水を敏速に排除し清潔な生活環境の維持に役立っている。						

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
現状の課題としては、浄化センターも含め十分な機能を発揮できる状態に維持することが必要である。 今後の事業展開方針としては、ネットワーク計画事業に基づき、より効率の良い整備や維持管理体制の見直しも必要であり、業務の委託化や施設の統廃合を推進する。						

平成26年度 事務事業点検シート

事務事業名	谷八木ポンプ場維持事業		新規/継続	継続事業	整理番号	0165003000 - 009		
			分割/統合					
関連予算科目	会計	下水道事業	事業の分割/統合の内容					
	款	下水道事業費	事業所管課	下水道部下水道施設課				
	項	下水道事業費	連絡先	(078)934-3425				
	目	下水道維持費	自治/法定	自治事務	開始年度	平成 8 年度		
	事業	谷八木ポンプ場維持事業	根拠法令・要綱等	下水道法、公害対策基本法 水質汚濁防止法、電気事業法、等				
施策分野	5 都市基盤整備分野 5-6 下水道の整備		実施方法	直営	○	補助・助成	その他	
個別計画	下水道中期ビジョン『あかし下水道計画ガイド』			委託		指定管理		

事業の目的	対象（誰を・何を）	谷八木ポンプ場集水区内9haに居住する市民、及び同区内から排水される汚水。ならびに同集水区内5haの雨水。
	意図（どういう状態にしたいのか）	住民が快適に生活を送れるよう、安全にかつ迅速に、汚水を大久保浄化センターに圧送する。 住民が快適に生活を送れるよう、安全にかつ迅速に、雨水を排除する。

事業内容	① 汚水圧送量 : 日平均 平成24年度実績 107m ³ 平成25年度実績 96m ³ 平成26年度見込み 96m ³
	② 点検業務 : 日常点検(週一回)、受電点検(月一回)、計装設備点検(年一回) 消防設備点検(年二回)、受変電直流自家発点検(年一回)
③ マニュアル類 : 大雨対応訓練実施(年一回)、危機管理マニュアル作成	
④ 地元対応 : 大雨時、敷地内に土嚢の準備。エンジンポンプ及び発電機の準備。施設内の樹木の剪定。	
⑤ 省エネルギー : エネルギーの使用の合理化に関する法律の改正により、明石市全体での管理体制に変わり、平成22年度から対象施設に含まれることになった。今後は、機器更新にも省エネを考慮する必要もあり、それに対する予算措置も重要な課題である。	

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				26年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
24決算	23,590	15,935	39,525	0	0	25,727	13,798	正規	1.85	ｱﾊﾞｲﾄ	0.00
25当初予算	15,965	14,460	30,425	0	0	15,965	14,460	再任用	0.10	その他	0.16
25決算	16,320	14,460	30,780	0	0	20,598	10,182	任期付	0.10	合計	2.21
26当初予算	20,363	16,314	36,677	0	0	20,363	16,314				

25年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	26年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	需用費	処理施設修繕(緊急)、電気料金等	8,687		需用費	処理施設修繕(緊急)、電気料金等	6,182
役務費	火災保険料等	9	役務費	火災保険料等	10		
委託料	計装設備点検、浚渫汚泥最終処分業務等	1,529	委託料	計装設備点検、浚渫汚泥最終処分業務	1,671		
工事請負費	機械電気定期保全等	6,095	工事請負費	機械電気定期保全等	12,500		
合計			16,320	合計			20,363

平成26年度 事務事業点検シート

整理番号	0165003000-009	事務事業名	谷八木ポンプ場維持事業
------	----------------	-------	-------------

	指標名	考え方・定義・式	単位	24年度	25年度	26年度見込み
事業の成果	単位流量あたりのコスト	送水流量に対していくら費用がかかっているかを見る	円/m ³	1,013	466	582
	電力使用量	一年間の電力使用量	千KWH	419	412	411
指標で表せない成果						
散気装置や雨水ポンプを利用して、大久保浄化センター放流水と、海水を混合放流することにより、河川の水質改善を図り、ノリの養殖においてノリの成長に良い影響を与えている。汚水や雨水を敏速に排除し清潔な生活環境の維持に役立っている。						

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
<p>現状の課題としては、浄化センターも含め十分な機能を発揮できる状態に維持することが必要である。</p> <p>今後の事業展開方針としては、ネットワーク計画事業に基づき、より効率の良い整備や維持管理体制の見直しも必要であり、業務の委託化や施設の統廃合を推進する。</p>						

平成26年度 事務事業点検シート

事務事業名	江井島ポンプ場維持事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0165003000 - 010		
		分割/統合					
関連予算科目	会計	下水道事業	事業の分割/統合の内容				
	款	下水道事業費					
	項	下水道事業費					
	目	下水道維持費					
	事業	江井島ポンプ場維持事業					
施策分野	5 都市基盤整備分野		事業所管課	下水道部下水道施設課			
	5-6 下水道の整備		連絡先	(078)934-3425			
個別計画	下水道中期ビジョン『あかし下水道計画ガイド』		自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 63 年度	
			根拠法令・要綱等	下水道法、公害対策基本法 水質汚濁防止法、電気事業法、等			
実施方法			直営	○	補助・助成	その他	
			委託		指定管理		

事業の目的	対象（誰を・何を）	江井島ポンプ場集水区内126haに居住する市民、及び同区内から排水される汚水。
	意図（どういう状態にしたいのか）	住民が快適に生活を送れるよう、安全にかつ迅速に汚水を西岡ポンプ場に圧送する。

事業内容	① 汚水圧送量 : 日平均 平成24年度実績 2,712m ³ 平成25年度実績 2,730m ³ 平成26年度見込み 2,714m ³
	② 点検業務 : 日常点検(毎日)、受電点検(月一回)、計装設備点検(年一回)、消防設備点検(年二回)、受変電直流自家発点検(年一回)
③ マニュアル類 : 大雨対応訓練実施(年一回)、危機管理マニュアル作成	
④ 地元対応 : 施設内の樹木の剪定	
⑤ 省エネルギー : エネルギーの使用の合理化に関する法律の改正により、明石市全体での管理体制に変わり、平成22年度から対象施設に含まれることになった。今後は、機器更新にも省エネを考慮する必要もあり、それに対する予算措置も重要な課題である。	

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				26年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
24決算	6,913	23,385	30,298	0	0	7,539	22,759	正規	2.54	ｱﾊﾞｲﾄ	0.00
25当初予算	15,014	22,653	37,667	0	0	15,014	22,653	再任用	0.15	その他	0.06
25決算	5,234	22,653	27,887	0	0	6,606	21,281	任期付	0.10	合計	2.85
26当初予算	6,470	21,802	28,272	0	0	6,470	21,802				

25年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	26年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	需用費	処理施設修繕(緊急)、電気料金等	4,022		需用費	処理施設修繕(緊急)、電気料金等	3,942
役務費	火災保険料等	123	役務費	火災保険料等	137		
委託料	計装設備点検、浚渫汚泥最終処分業務	1,089	委託料	計装設備点検、浚渫汚泥最終処分業務	1,591		
			工事請負費	処理施設浚渫工事	800		
合計			5,234	合計			6,470

平成26年度 事務事業点検シート

整理番号	0165003000-010	事務事業名	江井島ポンプ場維持事業
------	----------------	-------	-------------

	指標名	考え方・定義・式	単位	24年度	25年度	26年度見込み
事業の成果	単位流量あたりのコスト	送水流量に対していくら費用がかかっているかを見る	円/m ³	31	5	7
	電力使用量	一年間の電力使用量	千KWH	157	164	163
指標で表せない成果						
江井島ポンプ場は汚水の圧送を行なっている。近隣住民の快適な生活を確保するために重要な役割を持つ。						

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
現状の課題としては、浄化センターも含め十分な機能を発揮できる状態に維持することが必要である。 今後の事業展開方針としては、ネットワーク計画事業に基づき、より効率の良い整備や維持管理体制の見直しも必要であり、業務の委託化や施設の統廃合を推進する。						

平成26年度 事務事業点検シート

事務事業名	西岡ポンプ場維持事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0165003000 - 011		
		分割/統合					
関連予算科目	会計	下水道事業	事業の分割/統合の内容				
	款	下水道事業費	事業所管課	下水道部下水道施設課			
	項	下水道事業費	連絡先	(078)934-3425			
	目	下水道維持費	自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 52 年度	
	事業	西岡ポンプ場維持事業	根拠法令・要綱等	下水道法、公害対策基本法 水質汚濁防止法、電気事業法、等			
施策分野	5 都市基盤整備分野 5-6 下水道の整備		実施方法	直営	○	補助・助成	その他
個別計画	下水道中期ビジョン『あかし下水道計画ガイド』			委託		指定管理	

事業の目的	対象（誰を・何を）	西岡ポンプ場集水区内905haに居住する市民、及び同区内から排水される汚水。ならびに同集水区内18haの雨水。
	意図（どういう状態にしたいのか）	住民が快適に生活を送れるよう、安全にかつ迅速に、汚水を二見浄化センターに圧送する。 住民が快適に生活を送れるよう、安全にかつ迅速に、雨水を排除する。

事業内容	① 汚水圧送量 : 日平均 平成24年度実績 18,259m ³ 平成25年度実績 18,342m ³ 平成26年度見込み 18,314m ³
	② 雨水排除量 : 日平均 平成24年度実績 1,300m ³ 平成25年度実績 348m ³ 平成26年度見込み 274m ³
③ 点検業務 : 日常点検(毎日)、受電点検(月一回)、計装設備点検(年一回)、消防設備点検(年二回)、受変電直流自家発点検(年一回)	
④ マニュアル類 : 大雨対応訓練実施(年一回)、危機管理マニュアル作成	
⑤ 地元対応 : 会議室を近隣自治会に開放。施設内の樹木の剪定。	
⑥ 省エネルギー : エネルギーの使用の合理化に関する法律の改正により、明石市全体での管理体制に変わり、平成22年度から対象施設に含まれることになった。今後は、機器更新にも省エネを考慮する必要もあり、それに対する予算措置も重要な課題である。	

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				26年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
24決算	24,799	23,805	48,604	0	0	27,045	21,559	正規	2.54	ｱｼﾞﾊﾞｲﾄ	0.00
25当初予算	33,662	22,653	56,315	0	0	33,662	22,653	再任用	0.15	その他	0.06
25決算	25,430	22,653	48,083	0	0	32,095	15,988	任期付	0.10	合計	2.85
26当初予算	35,058	21,802	56,860	0	0	35,058	21,802				

25年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	26年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	需用費	処理施設修繕(緊急)、電気料金等	16,615		需用費	処理施設修繕(緊急)、電気料金等	18,370
役務費	火災保険料等	38	役務費	火災保険料等	133		
委託料	計装設備点検、浚渫汚泥最終処分業務等	2,792	委託料	計装設備点検、浚渫汚泥最終処分業務	3,355		
工事請負費	機械電気定期保全	5,985	工事請負費	機械電気定期保全	13,200		
	合計		25,430		合計	35,058	

平成26年度 事務事業点検シート

整理番号	0165003000-011	事務事業名	西岡ポンプ場維持事業
------	----------------	-------	------------

	指標名	考え方・定義・式	単位	24年度	25年度	26年度見込み
事業の成果	単位流量あたりのコスト	送水流量に対していくら費用がかかっているかを見る	円/m ³	7	4	5
	電力使用量	一年間の電力使用量	千KWH	779	795	794
<p>西岡ポンプ場は指標にも記した汚水の圧送に加え、雨水の排除も重要な役割である。近隣住民の安全安心の確保にも重要な役割を持つ。</p>						

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
<p>現状の課題としては、浄化センターも含め十分な機能を発揮できる状態に維持することが必要である。 今後の事業展開方針としては、ネットワーク計画事業に基づき、より効率の良い整備や維持管理体制の見直しも必要であり、業務の委託化や施設の統廃合を推進する。</p>						

平成26年度 事務事業点検シート

事務事業名	処理場整備一般管理事務事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0165003000 - 012		
		分割/統合					
関連予算科目	会計	下水道事業	事業の分割/統合の内容				
	款	下水道事業費					
	項	公共下水道建設費					
	目	下水道終末処理場建設事業費					
	事業	処理場整備一般管理事務事業					
事業所管課		下水道部下水道施設課					
連絡先		(078)934-3425					
自治/法定		自治事務	開始年度 昭和 46 年度				
根拠法令・要綱等		下水道法、公害対策基本法 水質汚濁防止法、電気事業法、等					
実施方法		直営	○	補助・助成		その他	
		委託		指定管理			
施策分野	5 都市基盤整備分野						
	5-6 下水道の整備						
個別計画	下水道中期ビジョン『あかし下水道計画ガイド』						

事業の目的	対象（誰を・何を）	下水道施設課事務事業
	意図（どういう状態にしたいのか）	処理機能をはじめとする施設機能を、将来に渡り持続可能な都市基盤として、整備し良好な状態に保つ。

事業内容	設計、積算、施工管理に要する一般管理事務を行う。
	<ul style="list-style-type: none"> ①研修旅費 ②設計歩掛、積算資料、専門書、作業服、コピー用紙購入 ③設計書印刷製本 ④現場移動用燃料費 ⑤地元対策 ⑥通信費 ⑦車両保険 ⑧コピー機リース料等 ⑨積算システムリース料の負担金、研修負担金 ⑩自動車重量税

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				26年度人員配置（人）			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
24決算	4,276	3,915	8,191	0	2,166	101	5,924	正規	0.21	ｱﾊﾞｲﾄ	0.00
25当初予算	4,646	3,616	8,262	0	0	0	8,262	再任用	0.00	その他	0.00
25決算	4,237	3,616	7,853	0	0	0	7,853	任期付	0.05	合計	0.26
26当初予算	5,919	1,852	7,771	0	0	5,853	1,918				

25年度決算事業費明細	区分（節）	内容	金額	26年度当初予算事業費明細	区分（節）	内容	金額
	旅費	研修旅費等	361		26年度	旅費	研修旅費等
需用費	事務用品費、本代等	2,654	26年度	需用費	事務用品費、本代等	3,608	
役務費	郵便料、損害共済分担金等	23	26年度	役務費	郵便料、損害共済分担金等	182	
使用料及び賃借料	コピー使用料等	153	26年度	使用料及び賃借料	コピー使用料等	469	
負担金補助及び交付金	積算システムリース料の負担金等	1,046	26年度	負担金補助及び交付金	積算システムリース料の負担金等	1,220	
			26年度	公課費	自動車重量税	20	
合計			4,237	合計			5,919

平成26年度 事務事業点検シート

整理番号	0165003000-012	事務事業名	処理場整備一般管理事務事業
------	----------------	-------	---------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	24年度	25年度	26年度見込み
	執行率	事務費用は積算資料の購入など、固定費が主なため、執行率が低ければ消耗品等の支出を抑制していることとなる。	%	90	91	90
	指標で表せない成果					

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
今後も必要最小限の一般管理事務費用にとどめる。						

平成26年度 事務事業点検シート

整理番号	0165003000-013	事務事業名	大久保浄化センター整備事業
------	----------------	-------	---------------

	指標名	考え方・定義・式	単位	24年度	25年度	26年度見込み
事業の成果	突発故障率	発注工事に占める突発故障の緊急対応工事 緊急対応工事数／全発注保全工事 適切な整備により、突発故障を抑える。	%	43	40	0
	施設の耐震化率	建築物等の耐震化工事の進捗率 耐震化済箇所数／対象建築物等 災害に対し、処理機能を確保する。	%	100	100	100
指標で表せない成果						
<ul style="list-style-type: none"> ・中央監視制御設備や情報通信網を活用し、作業効率を高めることで、最小限の人員での処理場運転を可能にしている。 ・唯一の高度処理施設であり、各種見学や市民開放施設を通して、下水道の普及啓発に貢献する。 						

	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
事業の評価・今後の方向性						
	現状の課題・今後の事業展開方針等					
処理施設の改築更新が主要な事業となるため、国の長寿命化計画支援制度を利用し、既存の施設を長期に渡り運用できる計画とする。						

平成26年度 事務事業点検シート

事務事業名	二見浄化センター整備事業		新規/継続	継続事業	整理番号	0165003000 - 014				
			分割/統合							
関連予算科目	会計	下水道事業	事業の分割/統合の内容							
	款	下水道事業費	事業所管課	下水道部下水道施設課						
	項	公共下水道建設費	連絡先	(078)934-3425						
	目	下水道終末処理場建設事業費	自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 52 年度				
	事業	二見浄化センター整備事業	根拠法令・要綱等		下水道法、公害対策基本法 水質汚濁防止法、電気事業法、等					
施策分野	5 都市基盤整備分野		実施方法		直営	○	補助・助成			
	5-6 下水道の整備				委託		指定管理			
個別計画	下水道中期ビジョン『あかし下水道計画ガイド』									

事業の目的	対象（誰を・何を）	二見浄化センター及び附属施設									
	意図（どういう状態にしたいのか）	処理機能をはじめとする施設機能を、将来に渡り持続可能な都市基盤として、整備し良好な状態に保つ。									
事業内容	①処理施設の機能増強を行う。 平成23年 汚泥焼却炉設備実施設計委託 平成24年 汚泥焼却設備工事 平成26年 沈砂洗浄設備設計業務委託(予定)										
	②老朽化した施設の計画的な改築更新を行う。 平成23年 汚泥脱水設備改築 中央監視制御設備改築実施設計 平成24年 計装設備改築電気工事 平成26年 中央監視制御設備電気工事(～H27年度予定) 浮上濃縮棟建築工事(予定)										
③施設の長寿命化や下水道資源の有効利用計画を進める。 平成23年 長寿命化計画書提出 平成25年 エアレーション設備機械電気工事 長寿命化計画策定業務委託 平成26年 汚水ポンプ設備機械工事(予定)											

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				26年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
24決算	153,017	3,915	156,932	79,878	77,498	3,621	-4,065				
25当初予算	131,696	3,865	135,561	61,900	68,400	0	5,261	正規	0.29	ｱﾊﾞｲﾄ	0.00
25決算	712,967	3,865	716,832	366,744	356,586	44	-6,542	再任用	0.00	その他	0.00
26当初予算	593,296	2,508	595,804	296,500	284,800	8,787	5,717	任期付	0.05	合計	0.34

25年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	26年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
		委託料	二見浄化センター土木建築施設 長寿命化計画策定業務委託		4,715		旅費
	工事請負費	二見浄化センター汚泥焼却設備 工事ほか	708,252		委託料	沈砂洗浄設備設計業務委託	19,800
					工事請負費	中央監視制御設備電気工事ほか	573,300
	合計		712,967		合計		593,296

平成26年度 事務事業点検シート

整理番号	0165003000-014	事務事業名	二見浄化センター整備事業
------	----------------	-------	--------------

	指標名	考え方・定義・式	単位	24年度	25年度	26年度見込み
事業の成果	突発故障率	発注工事に占める突発故障の緊急対応工事 緊急対応工事数／全発注保全工事 適切な整備により、突発故障を抑える。	%	25	27	0
	施設の耐震化率	建築物等の耐震化工事の進捗率 耐震化済箇所数／対象建築物等 災害に対し、処理機能を確保する。	%	100	100	100
指標で表せない成果						
中央監視制御設備や情報通信網を活用し、作業効率を高めることで、最小限の人員での処理場運転を可能にしている。						

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
処理施設の改築更新が主要な事業となるため、国の長寿命化計画支援制度を利用し、既存の施設を長期に渡り運用できる計画とする。						

平成26年度 事務事業点検シート

事務事業名		江井島ポンプ場整備事業		新規/継続	継続事業	整理番号	0165003000 - 015		
				分割/統合					
関連 予算 科目	会計	下水道事業		事業の分割/ 統合の内容					
	款	下水道事業費		事業所管課	下水道部下水道施設課				
	項	公共下水道建設費		連絡先	(078)934-3425				
	目	下水道整備費		自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 63 年度		
	事業	江井島ポンプ場整備事業		根拠法令 ・要綱等	下水道法、公害対策基本法 水質汚濁防止法、電気事業法等				
施策分野		5 都市基盤整備分野		実施方法	直営	○	補助・助成	その他	
		5-6 下水道の整備			委託		指定管理		
個別計画		下水道中期ビジョン『あかし下水道計画ガイド』							
事業 の 目的	対象（誰を・何を）								
	江井島ポンプ場及び付属設備								
事業 の 目的	意図（どういう状態にしたいのか）								
	処理機能をはじめとする施設機能を、将来に渡り持続可能な都市基盤として、整備し良好な状態に保つ。								
事業 内容	①老朽化した施設の計画的な改築更新を行う。 平成25年 耐震化中長期計画策定業務委託 平成26年 中央監視制御設備電気工事(~H27年度予定) 長寿命化計画書提出(予定)								

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				26年度人員配置(人)				
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源					
24決算	0	0	0	0	0	0	0	正規	0.16	ｱﾊﾞｲﾄ	0.00	
25当初予算	400	332	732	0	0	0	732	再任用	0.00	その他	0.00	
25決算	0	332	332	0	0	0	332	任期付	0.05	合計	0.21	
26当初予算	44,800	1,442	46,242	20,000	24,800	0	1,442					
25 年度 決算 事業 費 明 細	区分(節)	内容	金額	26 年度 当初 予算 事業 費 明 細	区分(節)	内容	金額					
						工事請負費	中央監視制御設備電気工事	44,800				
合計			0	合計			44,800					

平成26年度 事務事業点検シート

整理番号	0165003000-015	事務事業名	江井島ポンプ場整備事業
------	----------------	-------	-------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	24年度	25年度	26年度見込み
	突発故障率	発注工事に占める突発故障の緊急対応工事 緊急対応工事数／全発注保全工事 適切な整備により、突発故障を抑える。	%	0	0	0
	施設の耐震化率	建築物等の耐震化工事の進捗率 耐震化済箇所数／対象建築物等 災害に対し、処理機能を確保する。	%	100	100	100
指標で表せない成果						
中央監視制御設備や情報通信網を活用し、作業効率を高めることで、最小限の人員でのポンプ場運転を可能にしている。						

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
処理施設の改築更新が主要な事業となるため、国の長寿命化計画支援制度を利用し、既存の施設を長年に渡り運用できる計画とする。						

平成26年度 事務事業点検シート

事務事業名		西岡ポンプ場整備事業		新規/継続	継続事業	整理番号	0165003000 - 016		
				分割/統合					
関連 予算 科目	会計	下水道事業		事業の分割/ 統合の内容					
	款	下水道事業費		事業所管課	下水道部下水道施設課				
	項	公共下水道建設費		連絡先	(078)934-3425				
	目	下水道整備費		自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 52 年度		
	事業	西岡ポンプ場整備事業		根拠法令 ・要綱等	下水道法、公害対策基本法 水質汚濁防止法、電気事業法等				
施策分野		5 都市基盤整備分野		実施方法	直営	○	補助・助成	その他	
		5-6 下水道の整備			委託		指定管理		
個別計画		下水道中期ビジョン『あかし下水道計画ガイド』							
事業 の 目的	対象（誰を・何を） ポンプ場及び付属設備								
	意図（どういう状態にしたいのか） 処理機能をはじめとする施設機能を、将来に渡り持続可能な都市基盤として、整備し良好な状態に保つ。								
事業 内容	①老朽化した施設の計画的な改築更新を行う。 平成25年 耐震化中長期計画策定業務委託 平成26年 中央監視制御設備電気工事(~H27年度予定) 長寿命化計画書提出(予定)								

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				26年度人員配置(人)							
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源								
24決算	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
25当初予算	400	332	732	0	0	0	732	正規	0.20	ｱﾊﾞｲﾄ	0.00				
25決算	0	332	332	0	0	0	332	再任用	0.00	その他	0.00				
26当初予算	59,500	1,770	61,270	25,000	34,500	0	1,770	任期付	0.05	合計	0.25				
25 年度 決算 事業 費 明 細	区分(節)	内容	金額	26 年度 当初 予算 事業 費 明 細	区分(節)	内容	金額								
							工事請負費	中央監視制御設備電気工事	59,500						
合計			0	合計			59,500								

平成26年度 事務事業点検シート

整理番号	0165003000-016	事務事業名	西岡ポンプ場整備事業
------	----------------	-------	------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	24年度	25年度	26年度見込み
	突発故障率	発注工事に占める突発故障の緊急対応工事 緊急対応工事数／全発注保全工事 適切な整備により、突発故障を抑える。	%	0	0	0
	施設の耐震化率	建築物等の耐震化工事の進捗率 耐震化済箇所数／対象建築物等 災害に対し、処理機能を確保する。	%	100	100	100
	指標で表せない成果					
中央監視制御設備や情報通信網を活用し、作業効率を高めることで、最小限の人員でのポンプ場運転を可能にしている。						

事業の評価・今後の方向性	観点 （満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する 必要性	有効性	金額の 妥当性	公平性	優先性・ 緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
処理施設の改築更新が主要な事業となるため、国の長寿命化計画支援制度を利用し、既存の施設を長年に渡り運用できる計画とする。						

平成26年度 事務事業点検シート

整理番号	0165003000-017	事務事業名	朝霧浄化センター整備事業
------	----------------	-------	--------------

	指標名	考え方・定義・式	単位	24年度	25年度	26年度見込み
事業の成果	突発故障率	発注工事に占める突発故障の緊急対応工事 緊急対応工事数／全発注保全工事 適切な整備により、突発故障を抑える。	%	14	23	/
	施設の耐震化率	建築物等の耐震化工事の進捗率 耐震化済箇所数／対象建築物等 災害に対し、処理機能を確保する。	%	100	100	/
指標で表せない成果						

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
平成26年度については休止						
現状の課題・今後の事業展開方針等						
平成26年度については休止						

平成26年度 事務事業点検シート

整理番号	0165003000-018	事務事業名	船上浄化センター整備事業
------	----------------	-------	--------------

	指標名	考え方・定義・式	単位	24年度	25年度	26年度見込み
事業の成果	突発故障率	発注工事に占める突発故障の緊急対応工事 緊急対応工事数／全発注保全工事 適切な整備により、突発故障を抑える。	%	17	14	/
	施設の耐震化率	建築物等の耐震化工事の進捗率 耐震化済箇所数／対象建築物等 災害に対し、処理機能を確保する。	%	100	100	/
指標で表せない成果						

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）				
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性
平成26年度については休止					
現状の課題・今後の事業展開方針等					
平成26年度については休止					

平成26年度 事務事業点検シート

事務事業名	下水道計画事務事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0165004000 - 001		
		分割/統合					
関連予算科目	会計	下水道事業	事業の分割/統合の内容				
	款	下水道事業費	事業所管課	下水道部下水道建設課			
	項	公共下水道建設費	連絡先	(078)918-5051			
	目	下水道整備費	自治/法定	自治事務	開始年度	不明	
	事業	下水道計画事務事業	根拠法令・要綱等	都市計画法・下水道法			
施策分野	5 都市基盤整備分野	実施方法	直営	○	補助・助成	その他	
	5-6 下水道の整備		委託		指定管理		
個別計画	下水道中期ビジョン『あかし下水道計画ガイド』						

事業の目的	対象（誰を・何を）	明石市公共下水道
	意図（どういう状態にしたいのか）	安定した機能維持とともに、新たに直面する課題に柔軟かつ的確に対応するため下水道計画を策定する。

事業内容	①下水道建設計画の立案 ②下水道の調査および研究 ③開発事業協議における下水道計画の指導および近隣市町との調整
------	---

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				26年度人員配置（人）			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
24決算	3,973	13,380	17,353	1,969	23	152	15,209	正規	3.00	ｱﾊﾞｲﾄ	0.00
25当初予算	100	32,060	32,160	0	0	100	32,060	再任用	0.00	その他	0.00
25決算	28	32,060	32,088	0	0	1	32,087	任期付	0.20	合計	3.20
26当初予算	21,600	25,120	46,720	6,500	0	187	40,033				

25年度決算事業費明細	区分（節）	内容	金額	26年度当初予算事業費明細	区分（節）	内容	金額
	旅費	近接地旅費等	28		旅費	近接地旅費等	100
			委託料	明石市公共下水道事業計画変更図書等作成業務委託	21,500		
	合計		28	合計	21,600		

平成26年度 事務事業点検シート

整理番号	0165004000-001	事務事業名	下水道計画事務事業
------	----------------	-------	-----------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	24年度	25年度	26年度見込み
	開発事業協議受付件数	1年間に受け付けた開発事業協議の件数	件	79	113	70
	指標で表せない成果					
全体計画の策定、事業認可取得、重要事業の計画立案・庁内調整等						

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
持続可能な下水道を維持し続けるため、より効率的・効果的な事業推進を図るとともに、より計画的かつ積極的な計画事務を推進する。						

平成26年度 事務事業点検シート

事務事業名		管渠整備一般管理事務事業		新規/継続	継続事業	整理番号	0165004000 - 002		
				分割/統合					
関連 予算 科目	会計	下水道事業		事業の分割/ 統合の内容					
	款	下水道事業費		事業所管課	下水道部下水道建設課				
	項	公共下水道建設費		連絡先	(078)918-5051				
	目	下水道整備費		自治/法定	自治事務	開始年度	不明		
	事業	管渠整備一般管理事務事業		根拠法令 ・要綱等	都市計画法・下水道法				
施策分野		5 都市基盤整備分野		実施方法	直営	○	補助・助成	その他	
		5-6 下水道の整備			委託		指定管理		
個別計画		下水道中期ビジョン『あかし下水道計画ガイド』							
事業 の 目的	対象（誰を・何を）								
	明石市公共下水道事業								
事業 の 目的	意図（どういう状態にしたいのか）								
	計画的かつ円滑に推進する								
事業 内容	下水道管渠整備一般事務に要する経費								
	<ul style="list-style-type: none"> ○研修旅費および研修負担金 <ul style="list-style-type: none"> ・全国建設研修センター(東京都) ・下水道事業団研修(埼玉県) ○積算関係図書および積算システム負担金 ○事務用品および下水道専門書など 								

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				26年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
24決算	5,881	32,060	37,941	0	3,822	224	33,895	正規	0.80	ｱﾊﾞｲﾄ	0.00
25当初予算	9,882	10,380	20,262	0	0	9,882	10,380	再任用	0.00	その他	0.00
25決算	6,537	10,380	16,917	0	0	192	16,725	任期付	0.80	合計	1.60
26当初予算	7,244	8,640	15,884	0	0	7,244	8,640				

25年度 決算 事業費 明細	区分(節)	内容	金額	26年度 当初 予算 事業費 明細	区分(節)	内容	金額
		旅費	研修旅費、近接地旅費		387		旅費
	需用費	事務用品、各種機器点検ほか	2,435		需用費	事務用品、各種機器点検ほか	2,498
	役務費	郵便料	50		役務費	郵便料等	126
	使用料及び賃借料	コピー機借上料ほか	710		使用料及び賃借料	コピー機借上料ほか	1,000
	備品購入費	図書ほか	50		備品購入費	図書ほか	60
	負担金補助及び交付金	講習会等出席負担金および積算システムほか	2,905		負担金補助及び交付金	講習会等出席負担金および積算システムほか	3,150
	合計		6,537		合計		7,244

平成26年度 事務事業点検シート

整理番号	0165004000-002	事務事業名	管渠整備一般管理事務事業
------	----------------	-------	--------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	24年度	25年度	26年度見込み
	指標で表せない成果					
事務の円滑な執行						

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点に「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
	現状の課題・今後の事業展開方針等					
引き続き、より計画的かつ積極的な下水道事業を行うとともに、効率的・効果的な事業展開を推進する。						

平成26年度 事務事業点検シート

事務事業名	朝霧処理区管渠整備事業			新規/継続	継続事業	整理番号	0165004000 - 003			
				分割/統合						
関連予算科目	会計	下水道事業			事業の分割/統合の内容					
	款	下水道事業費			事業所管課		下水道部下水道建設課			
	項	公共下水道建設費			連絡先		(078)918-5051			
	目	下水道整備費			自治/法定		自治事務	開始年度	不明	
	事業	朝霧処理区管渠整備事業			根拠法令・要綱等		都市計画法・下水道法			
施策分野		5 都市基盤整備分野			実施方法		直営	○	補助・助成	その他
		5-6 下水道の整備					委託		指定管理	
個別計画		下水道中期ビジョン『あかし下水道計画ガイド』								

事業の目的	対象（誰を・何を）									
	○市内における下水を排除し、又は処理することを目的とした、下水道管渠の整備									
事業内容	意図（どういう状態にしたいのか）									
	○生活環境の改善 ○公共用水域の水質保全									
①汚水未普及地区での面整備、水洗化の実施 H26（工事）朝霧川右岸地区管布設工事(φ 200、L=150m)（予定） （委託）朝霧処理区内支管実施設計委託（予定） ②浸水対策事業の実施 H25（委託）東野町雨水管実施設計委託 H26（工事）東野町雨水管布設工事(φ 900～700、L=240m)（予定）										

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				26年度人員配置（人）			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
24決算	0	16,380	16,380	0	0	0	16,380				
25当初予算	13,400	13,695	27,095	1,500	11,900	0	13,695	正規	1.65	ｱﾊﾞｲﾄ	0.00
25決算	3,302	13,695	16,997	1,616	1,686	188	13,507	再任用	0.00	その他	0.00
26当初予算	117,300	13,530	130,830	42,000	75,300	0	13,530	任期付	0.00	合計	1.65

25年度決算事業費明細	区分（節）	内容	金額	26年度当初予算事業費明細	区分（節）	内容	金額
		委託料	東野町雨水管実施設計委託		3,302		委託料
					工事請負費	東野町雨水管布設工事ほか	97,500
					補償補填及び賠償金	ガス管などの移設費用	18,000
	合計		3,302		合計		117,300

平成26年度 事務事業点検シート

整理番号	0165004000-003	事務事業名	朝霧処理区管渠整備事業
------	----------------	-------	-------------

	指標名	考え方・定義・式	単位	24年度	25年度	26年度見込み
事業の成果	汚水人口普及率	下水道計画区域における在住人口に対する水洗化可能人口の割合(指標は市域全体とする)	%	99.3	99.4	99.5
	雨水整備率	下水道計画区域面積に対する雨水管整備済み区域の割合(指標は市域全体とする)	%	48.3	48.4	48.6
指標で表せない成果						

事業の評価・今後の方向性	観点 (満たしていない観点到「×」)					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
汚水整備は、河川縦断占用が必要な地域などの汚水未整備区域を解消する。 雨水整備は、重点整備計画を考慮し、効率的・効果的な雨水施設整備を行うことで浸水被害の軽減を図っていく。						

平成26年度 事務事業点検シート

事務事業名	船上処理区管渠整備事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0165004000 - 004		
		分割/統合					
関連予算科目	会計	下水道事業	事業の分割/統合の内容				
	款	下水道事業費	事業所管課	下水道部下水道建設課			
	項	公共下水道建設費	連絡先	(078)918-5051			
	目	下水道整備費	自治/法定	自治事務	開始年度	不明	
	事業	船上処理区管渠整備事業	根拠法令・要綱等	都市計画法・下水道法			
施策分野	5 都市基盤整備分野 5-6 下水道の整備	実施方法	直営	○	補助・助成	その他	
個別計画	下水道中期ビジョン『あかし下水道計画ガイド』		委託		指定管理		

事業の目的	対象（誰を・何を）	○市内における下水を排除し、又は処理することを目的とした、下水道管渠の整備
	意図（どういう状態にしたいのか）	○生活環境の改善、浸水被害の軽減 ○公共用水域の水質保全

事業内容	①浸水対策事業の実施
	H24（工事） 松江2号雨水幹線布設工事（φ 1350、L=156.2m） ほか （委託） 船上第3・4号雨水幹線実施設計委託 ほか H25（工事） 貴崎2丁目ほか管布設工事（φ 200、L=134.6m） ほか （委託） 西新町2丁目ほか雨水管実施設計委託 H26（工事） 明石駅前南地区雨水管布設工事（φ 1200～600、L=500m） ほか（予定） （委託） 船上3号雨水幹線布設工事に伴う資材特別調査委託（予定）

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				26年度人員配置（人）			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
24決算	177,810	0	177,810	58,694	115,547	11,407	-7,838				
25当初予算	15,000	13,695	28,695	0	15,000	0	13,695	正規	1.65	ｱﾊﾞｲﾄ	0.00
25決算	45,334	13,695	59,029	4,743	32,222	2,583	19,481	再任用	0.00	その他	0.00
26当初予算	431,900	13,530	445,430	188,500	241,500	0	15,430	任期付	0.00	合計	1.65

25年度決算事業費明細	区分（節）	内容	金額	26年度当初予算事業費明細	区分（節）	内容	金額
	委託料	西新町2丁目ほか雨水管実施設計委託	10,620		委託料	船上3号雨水幹線布設工事に伴う資材特別調査委託	2,900
工事請負費	貴崎2丁目ほか管布設工事ほか	25,140	工事請負費	明石駅前南地区雨水管布設工事ほか	402,000		
補償補填及び賠償金	ガス管などの移設費用	9,574	補償補填及び賠償金	ガス管などの移設費用	27,000		
	合計		45,334	合計	431,900		

平成26年度 事務事業点検シート

整理番号	0165004000-004	事務事業名	船上処理区管渠整備事業
------	----------------	-------	-------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	24年度	25年度	26年度見込み
	汚水人口普及率	下水道計画区域における在住人口に対する水洗化可能人口の割合(指標は市域全体とする)	%	99.3	99.4	99.5
	雨水整備率	下水道計画区域面積に対する雨水管整備済み区域の割合(指標は市域全体とする)	%	48.3	48.4	48.6
指標で表せない成果						

事業の評価・今後の方向性	観点 (満たしていない観点到「×」)					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
	現状の課題・今後の事業展開方針等					
汚水整備は、河川縦断占用が必要な地域などの汚水未整備区域を解消する。 雨水整備は、重点整備計画を考慮し、効率的・効果的な雨水施設整備を行うことで浸水被害の軽減を図っていく。						

平成26年度 事務事業点検シート

事務事業名	大久保処理区管渠整備事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0165004000 - 005		
		分割/統合					
関連予算科目	会計	下水道事業	事業の分割/統合の内容				
	款	下水道事業費					
	項	公共下水道建設費					
	目	下水道整備費					
	事業	大久保処理区管渠整備事業					
施策分野	5 都市基盤整備分野	事業所管課	下水道部下水道建設課				
	5-6 下水道の整備		連絡先	(078)918-5051			
個別計画	下水道中期ビジョン『あかし下水道計画ガイド』	自治/法定		自治事務	開始年度	不明	
		根拠法令・要綱等	都市計画法・下水道法				
		実施方法	直営	○	補助・助成	その他	
			委託		指定管理		

事業の目的	対象（誰を・何を）	○市内における下水を排除し、又は処理することを目的とした、下水道管渠の整備
	意図（どういう状態にしたいのか）	○生活環境の改善、浸水被害の軽減 ○公共用水域の水質保全
	事業内容	①汚水未普及地区での面整備、水洗化の実施 H24（工事） 谷八木砂川ほか管布設工事（φ 200、L=86.0m）ほか H25（工事） 大窪山崎ほか支管工事（φ 200、L=66.4m）ほか （委託） 松陰山手土地区画整理事業地内汚水管実施設計委託 ほか H26（工事） 松陰山手土地区画整理事業地内管布設工事（φ 200、L=850m）ほか（予定） （委託） 西脇ウシロほか地内汚水管実施設計委託 ほか（予定） ②浸水対策事業の実施 H24（工事） 福田宮ノ浦雨水管布設工事（φ 1100、L=114.1m）ほか H25（工事） 金ヶ崎春日田ほか雨水管布設工事（□1600×1600・□1500×1500、L=144.8m） H26（工事） 谷八木溝向イ雨水管布設工事（□1000×1100・□800×800、L=180m）ほか（予定） （委託） 藤江地区雨水マンホールポンプ実施設計委託（予定）

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				26年度人員配置（人）			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
24決算	272,049	21,420	293,469	89,802	176,786	17,453	9,428	正規	1.65	ｱﾊﾞｲﾄ	0.00
25当初予算	362,900	13,695	376,595	133,750	229,150	0	13,695	再任用	0.00	その他	0.00
25決算	268,492	13,695	282,187	90,286	178,206	15,302	-1,607	任期付	0.00	合計	1.65
26当初予算	454,800	13,530	468,330	150,000	304,800	0	13,530				

25年度決算事業費明細	区分（節）	内容	金額	26年度当初予算事業費明細	区分（節）	内容	金額
	委託料	松陰山手土地区画整理事業地内汚水管実施設計委託ほか	4,412		委託料	西脇ウシロほか地内汚水管実施設計委託ほか	19,300
工事請負費	大窪角田（2工区）雨水管布設工事ほか	257,732	工事請負費	谷八木溝向イ雨水管布設工事ほか	399,500		
補償補填及び賠償金	ガス管などの移設費用	6,348	補償補填及び賠償金	ガス管などの移設費用	36,000		
	合計		268,492	合計	454,800		

平成26年度 事務事業点検シート

整理番号	0165004000-005	事務事業名	大久保処理区管渠整備事業
------	----------------	-------	--------------

	指標名	考え方・定義・式	単位	24年度	25年度	26年度見込み
事業の成果	汚水人口普及率	下水道計画区域における在住人口に対する水洗化可能人口の割合(指標は市域全体とする)	%	99.3	99.4	99.5
	雨水整備率	下水道計画区域面積に対する雨水管整備済み区域の割合(指標は市域全体とする)	%	48.3	48.4	48.6
指標で表せない成果						

事業の評価・今後の方向性	観点 (満たしていない観点到「×」)					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
汚水整備は、河川縦断占用が必要な地域などの汚水未整備区域を解消する。 雨水整備は、重点整備計画を考慮し、効率的・効果的な雨水施設整備を行うことで浸水被害の軽減を図っていく。						

平成26年度 事務事業点検シート

事務事業名	二見処理区管渠整備事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0165004000 - 006		
		分割/統合					
関連予算科目	会計	下水道事業	事業の分割/統合の内容				
	款	下水道事業費					
	項	公共下水道建設費					
	目	下水道整備費					
	事業	二見処理区管渠整備事業					
施策分野	5 都市基盤整備分野		事業所管課	下水道部下水道建設課			
	5-6 下水道の整備		連絡先	(078)918-5051			
個別計画	下水道中期ビジョン『あかし下水道計画ガイド』		自治/法定	自治事務	開始年度	不明	
			根拠法令・要綱等	都市計画法・下水道法			
実施方法			直営	○	補助・助成		
			委託		指定管理		

事業の目的	対象（誰を・何を）	○市内における下水を排除し、又は処理することを目的とした、下水道管渠の整備
	意図（どういう状態にしたいのか）	○生活環境の改善、浸水被害の軽減 ○公共用水域の水質保全
	事業内容	<p>①汚水未普及地区での面整備、水洗化の実施</p> <p>H24（工事）長坂寺区画整理内ほか管布設工事（φ200、L=407.8m）ほか （委託）西岡川西第1踏切道軌道下管布設工事委託</p> <p>H25（工事）西岡樋ヶ元管布設工事（φ200、L=156.3m）ほか （委託）山陽電鉄西二見駅北側汚水管実施設計委託</p> <p>H26（工事）山陽電鉄西二見駅北側管布設工事（φ200、L=500m）ほか（予定） （委託）清水上北代汚水管実施設計委託ほか（予定）</p> <p>②浸水対策事業の実施</p> <p>H24（工事）瀬戸第3号雨水幹線（大坪工区）布設工事（□3000×2100・□2200×2100・□2000×2400、L=156.5m）ほか （委託）瀬戸第3号雨水幹線（その3）実施設計委託ほか</p> <p>H25（工事）瀬戸第3号雨水幹線（戌ノ方谷工区）布設工事（□2000×2400・φ2000、L=71.1m）ほか （委託）山陽電鉄西二見駅北側雨水管ほか実施設計委託ほか</p> <p>H26（工事）清水若宮ノ下雨水管布設工事（□2300×1400・φ2000、L=150m）ほか（予定） （委託）浜西17号池ため池改修工事関連実施設計委託（予定）</p>

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				26年度人員配置（人）			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
24決算	507,214	16,380	523,594	167,428	329,604	32,541	-5,979	正規	1.65	ｱﾊﾞｲﾄ	0.00
25当初予算	278,500	13,695	292,195	113,000	165,500	0	13,695	再任用	0.00	その他	0.00
25決算	253,779	13,695	267,474	105,403	148,344	14,464	-737	任期付	0.00	合計	1.65
26当初予算	494,700	13,530	508,230	200,500	294,200	0	13,530				

25年度決算事業費明細	区分（節）	内容	金額	26年度当初予算事業費明細	区分（節）	内容	金額
	委託料	金ヶ崎春日田ほか雨水管実施設計委託ほか	8,473		26年度当初予算事業費明細	委託料	清水上北代汚水管実施設計委託ほか
工事請負費	瀬戸第3号雨水幹線（戌ノ方谷工区）布設工事ほか	243,083		工事請負費	清水宮ノ下雨水管布設工事ほか	448,500	
補償補填及び賠償金	ガス管などの移設費用	2,223		公有財産購入費	清水若宮ノ下雨水管布設工事に係る用地買収	6,000	
				補償補填及び賠償金	ガス管などの移設費用	27,000	
	合計		253,779		合計		494,700

平成26年度 事務事業点検シート

整理番号	0165004000-006	事務事業名	二見処理区管渠整備事業
------	----------------	-------	-------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	24年度	25年度	26年度見込み
	汚水人口普及率	下水道計画区域における在住人口に対する水洗化可能人口の割合(指標は市域全体とする)	%	99.3	99.4	99.5
	雨水整備率	下水道計画区域面積に対する雨水管整備済み区域の割合(指標は市域全体とする)	%	48.3	48.4	48.6
指標で表せない成果						

事業の評価・今後の方向性	観点 (満たしていない観点到「×」)					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
	現状の課題・今後の事業展開方針等					
汚水整備は、河川縦断占用が必要な地域などの汚水未整備区域を解消する。 雨水整備は、重点整備計画を考慮し、効率的・効果的な雨水施設整備を行うことで浸水被害の軽減を図っていく。						

平成26年度 事務事業点検シート

整理番号	0165004000-007	事務事業名	朝霧処理区管渠更生事業
------	----------------	-------	-------------

	指標名	考え方・定義・式	単位	24年度	25年度	26年度見込み
事業の成果	管渠改築の必要延長	改築計画に基づき、緊急性の高い下水道施設を改築し、陥没事故防止を図る。 (指標は市内一円とする)	km	2.8	1.6	2.6
	マンホール蓋の取り替え箇所数	改築計画に基づき、緊急性の高い下水道施設を改築し、陥没事故防止を図る。 (指標は市内一円とする)	箇所	275	197	270
指標で表せない成果						

事業の評価・今後の方向性	観点 (満たしていない観点到「×」)					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
下水道施設の計画的な調査点検を行うとともに、国の予算的支援に必要不可欠な管渠等の「長寿命化計画」を策定し、その長寿命化計画に基づいた、計画的かつ効率的・効果的な整備を推進することで、安定した持続可能な下水道機能を維持する。						

平成26年度 事務事業点検シート

整理番号	0165004000-008	事務事業名	船上処理区管渠更生事業
------	----------------	-------	-------------

	指標名	考え方・定義・式	単位	24年度	25年度	26年度見込み
事業の成果	管渠改築の必要延長	改築計画に基づき、緊急性の高い下水道施設を改築し、陥没事故防止を図る。 (指標は市内一円とする)	km	2.8	1.6	2.6
	マンホール蓋の取り替え箇所数	改築計画に基づき、緊急性の高い下水道施設を改築し、陥没事故防止を図る。 (指標は市内一円とする)	箇所	275	197	270
指標で表せない成果						
老朽化している既存下水道施設の計画的な改築更新により、下水道施設に起因した大規模な陥没事故は防止できている。						

事業の評価・今後の方向性	観点 (満たしていない観点到「×」)					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
下水道施設の計画的な調査点検を行うとともに、国の予算的支援に必要不可欠な管渠等の「長寿命化計画」を策定し、その長寿命化計画に基づいた、計画的かつ効率的・効果的な整備を推進することで、安定した持続可能な下水道機能を維持する。						

平成26年度 事務事業点検シート

事務事業名	大久保処理区管渠更生事業			新規/継続	継続事業	整理番号	0165004000 - 009				
				分割/統合							
関連予算科目	会計	下水道事業			事業の分割/統合の内容						
	款	下水道事業費			事業所管課	下水道部下水道建設課					
	項	公共下水道建設費			連絡先	(078)918-5051					
	目	下水道整備費			自治/法定	自治事務	開始年度	不明			
	事業	大久保処理区管渠更生事業			根拠法令・要綱等	都市計画法・下水道法					
施策分野		5 都市基盤整備分野			実施方法	直営	○	補助・助成	□	その他	□
		5-6 下水道の整備				委託	□	指定管理	□	□	
個別計画	下水道中期ビジョン『あかし下水道計画ガイド』										

事業の目的	対象（誰を・何を）										
	大久保処理区における老朽化している既設管路施設の改築、修繕										
	意図（どういう状態にしたいのか）										
既設管路施設の円滑な流下能力の確保と施設の長寿命化及び、道路陥没事故防止等の安全確保に努める。											
事業内容	①老朽化している管渠を撤去し新しい管渠を布設、もしくは管渠の更生工事を実施する。 H26（委託）大久保町西島北ヶ市ほか地内管渠調査業務委託 ほか（予定）										

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				26年度人員配置（人）			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
24決算	35,367	18,060	53,427	11,674	22,983	2,270	16,500	正規	1.15	ｱﾊﾞｲﾄ	0.00
25当初予算	0	0	0	0	0	0	0	再任用	0.25	その他	0.00
25決算	0	0	0	0	0	0	0	任期付	0.00	合計	1.40
26当初予算	36,000	10,280	46,280	0	36,000	0	10,280				

25年度決算事業費明細	区分（節）	内容	金額	26年度当初予算事業費明細	区分（節）	内容	金額
							委託料
	合計		0		合計		36,000

平成26年度 事務事業点検シート

整理番号	0165004000-009	事務事業名	大久保処理区管渠更生事業
------	----------------	-------	--------------

	指標名	考え方・定義・式	単位	24年度	25年度	26年度見込み
事業の成果	管渠改築の必要延長	改築計画に基づき、緊急性の高い下水道施設を改築し、陥没事故防止を図る。 (指標は市内一円とする)	km	2.8	1.6	2.6
	マンホール蓋の取り替え箇所数	改築計画に基づき、緊急性の高い下水道施設を改築し、陥没事故防止を図る。 (指標は市内一円とする)	箇所	275	197	270
指標で表せない成果						

事業の評価・今後の方向性	観点 (満たしていない観点到「×」)					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
下水道施設の計画的な調査点検を行うとともに、国の予算的支援に必要不可欠な管渠等の「長寿命化計画」を策定し、その長寿命化計画に基づいた、計画的かつ効率的・効果的な整備を推進することで、安定した持続可能な下水道機能を維持する。						

平成26年度 事務事業点検シート

整理番号	0165004000-010	事務事業名	二見処理区管渠更生事業
------	----------------	-------	-------------

	指標名	考え方・定義・式	単位	24年度	25年度	26年度見込み
事業の成果	管渠改築の必要延長	改築計画に基づき、緊急性の高い下水道施設を改築し、陥没事故防止を図る。 (指標は市内一円とする)	km	2.8	1.6	/
	マンホール蓋の取り替え箇所数	改築計画に基づき、緊急性の高い下水道施設を改築し、陥没事故防止を図る。 (指標は市内一円とする)	箇所	275	197	/
指標で表せない成果						

事業の評価・今後の方向性	観点 (満たしていない観点到「×」)				
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性
平成26年度については休止					
現状の課題・今後の事業展開方針等					
平成26年度については休止					